

~~291~~
~~859~~

特

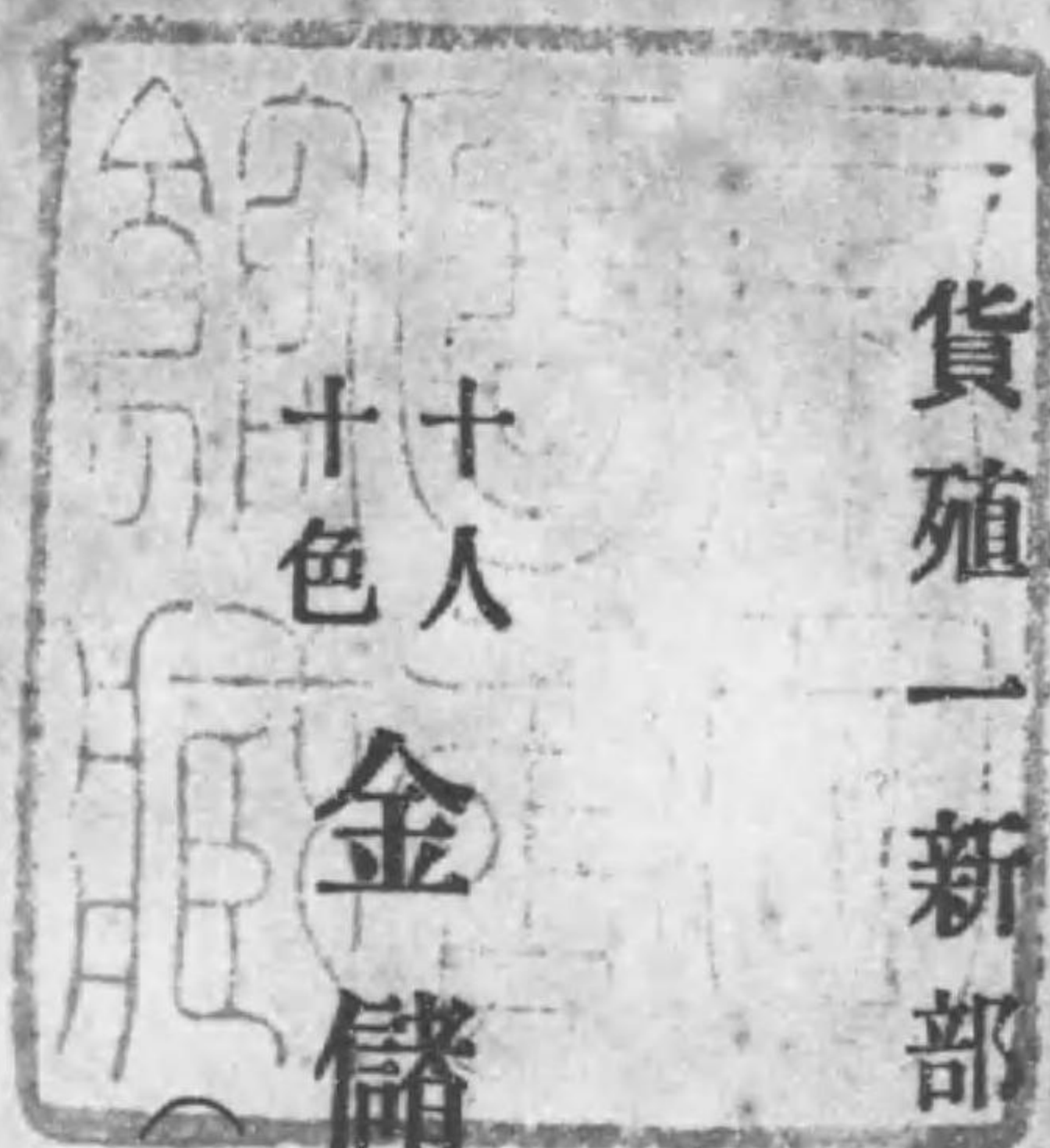


始



特110
958

貨殖一新部編



十人
十色

金儲

大解剖學

(金儲智識早わかり)



大正

12. 3. 3

内交

丸木屋藏版

はしがりぎ

吾々は假令よい加減に世をあしらつて行かうとしても、夫れは物的には容易に許されるのでありまじやう。イヤそんな生やさしきことであるならば兎も角、私達の首が飛ぶやうなことがあるから手に負へません。

其處で金儲けの爲めには、戦を餘儀なくされると云ふのが金儲けに對する最小限度の考へであるとするれば、社會の經濟化と云ふ言葉の意味は少くとも現状を穿つてゐると申されまじやう。

富士山に登るにも色々道が分れてある如く致富成功の道にも十人

十色でありまして、金を儲けんとする第一要件たる「各人所有の特色を發揮する」といふことを目標にし、男女老幼ごなたにも讀んで戴き度いと、之れを貨殖大解剖學と名づけんと致しましたが、貨殖と言ふ字が少し氣に向きませんでしたから更に、金儲大解剖學と云ふ様な名目の許にメスを振つたワケで、其メスの切れ味が至つて悪い處は何卒御諒解あらんことを乞ふ。

編者識す

金儲大解剖學目次

第一編 人生と貨殖……………一

第二編 貯蓄

一、各種貯蓄法……………三

二、勤儉貯蓄法……………四

三、天引貯金……………四

四、一萬圓貯蓄法……………七

五、儲得貯金法……………一〇

六、郵便貯金……………一二

七、銀行預金	一五
八、信託預金	一八
九、一百万圓の利率表	二〇

第三編 債券

一、公債と社債	二一
二、勸業債券利殖法	二五
三、各種債券利殖	二八

第四編 株券

一、素人にも分る株券の話	三三
--------------	----

二、名義書き換への仕方	三七
三、決算報告	三九
四、利廻の見方	四一
五、安全なる株式利殖法	四四
六、一流株表	四六
七、株を買ふ時の注意	五〇
八、最有利なる利殖法	五一
九、鞘取賣買法	五四
十、簡單なる景氣逆利用金儲法	五八
十一、株式と預金の比較	六一

第五編 金融

- 一、銀行……………六三
- 二、銀行の種類……………六七
- 三、全國銀行一覽表……………七一
- 四、銀行利用法……………七六
- 五、信託業の話……………七八
- 六、信託會社の利用法……………八一
- 七、各種貸附法……………八三
- 八、安全な貸附の手渡……………九二

- 九、短期に千圓を一萬圓にする法……………九四
- 十、資金の有望な土地……………九八

第六編 土地建物

- 一、土地放資の研究……………一〇〇
- 二、田畑賣買價格表……………一〇二
- 三、畑地賣買價格表……………一〇三
- 四、土地賣買に就ての心得……………一〇四
- 五、借地法と宅地……………一〇六
- 六、有利な土地買入法……………一〇八

七、如何なる貸家が利殖としてかよきか……………一一〇

第七編 經濟記事よみ方及投資參考資料

- 一、經濟界變轉の見方……………一一二
- 二、銀行善惡鑑別法……………一一五
- 三、株式會社鑑別法……………一二〇
- 四、株式枚資の心得……………一二五

第八編 小資本で有利な副業

- 一、パン屋……………一二七
- 二、煙草店……………一二九

- 三、雜誌店……………一三一
- 四、書籍通信販賣法……………一三六
- 五、桐樹栽培法……………一四三
- 六、副業として面白き養鶏……………一四六

第九編 内職

- 一、和洋仕立物……………一五三
- 二、メリヤス裁縫……………一五六
- 三、刷子類の内職……………一五八
- 四、タツチングレース……………一五九
- 五、洗濯洗張業……………一六一

十人
十色

金儲大解剖學

(成金の道しるべ)

第一編

一、人生と貨殖

恒産なきものは恒心がないと古人も言へる通り誠に千古變らぬ至言であります。人間として苟もこの世に生を受けた以上、少くとも生に對する執着のないものはありません。即ち自己に對しては勿論親に對し妻に對し子に對し同様何うかして一生を安樂に暮したい、

物質的に成功したいと熱望する此の情は誰しも同じことであります而して此の熱烈で眞剣なる慾望を充すには金が第一必要であります。或程度の財産を有すると言ふ事は言ふ迄もなくこの慾望を眼の前に充し得るのみでなく、未來の爲めに對しても豫め備へ得るのであります。若しも資産がないとすると其人の不安は不斷に生活を脅かすことになり従つて不愉快に世を送り開發向上を害すること決して少くはありません。此の意味に於て少くとも生活の安定を十分に得る程度の財産を目標として貨殖の工風を凝らさなければなりません。然らば以下各項に渡つて貨殖法の實際を各部に渡つて評説することと致します。

第二編 貯蓄

一、各種貯蓄法

貯蓄は古今を通じて萬徳の基となり、徳目の大綱となるべきものであつて一國に興れば其國俗改まり富國強兵となり一家に此の美風があれば家榮わて平和となり、個人にして早くも此の貯蓄に志せば致富成功の半に達したと申すべきであります。

閑話は扱て置き貯金法を調査研究して見ますると十人十色幾多の方法がある様であります。が之れを大別して勤儉貯蓄法と貯蓄利殖法とアメリカ式の所謂儲得貯蓄法の三つになるかと思ひます。

二、勤儉貯蓄法

此の種の貯金法は日本に在來古くから行われてゐる方法で天引貯金、絞り出し貯金初穂貯金何々貯金と稱してゐる貯金法は一切合切此の式の貯蓄法であつて、要するに入るを計つて出づるを制すと言ふ方法である、即ち入るを計ると云ふのは勤儉に働いて少しでも收入を多く取り、出づるを制するとは其取り入れた金銭を全部日常生活費に費消するやうなことをせず、出来るだけ儉約節略して残すやうにして溜める方法であります。

—(4)—

三、天引貯金

昔から「分相應に風が吹く」と言ふ諺のある通り五拾圓の日給者

が百圓も二百圓もの生活をしたかつたり、百圓より収入ないものが収入以上の欲望を求めると言ふことは非望であつて、斯う云ふ人は始終困窮に陥り、貧乏生活をする外に方法がない。苟も老後の計を立て、貯蓄に移めるには、先づ各人の分度考へて日常生活法を立てなければならぬ。それは如何なる方法であるかと言へば次の如くに生活費は平素収入の半分を用ひてそれに當がひ、残りの半分は之れを貯蓄に振り向けて後日の用に供へる、而して常収入の半分を分内金と稱して此の分内金の七分を純生活費に用ひ、残り三分を臨時費に用ひて行くやうにする、斯うして月収百圓の俸給を取る人は初めから五拾圓の月給より取らるゝものと諦らめて五拾圓は天引貯金に

—(5)—

振り向け残り半額の五拾圓を生活費に用ひ、尙ほ此の内三分金の拾圓乃至拾五圓は臨時費に充當する様にして行く、斯くすれば如何なる人々でも貯金が氣樂に出來ると云ふのである。

然し今日此の方法で貯金するとすれば時勢が變化して居るから多少の平加減が要ると思はれる、如何に始めから天引にして百圓の収入を五拾圓よりないものと思へと言つて見た所で、今日の様は物が高くなつて居る時代に於ては昔時の如き方法は行はれないから、若し今日此の方法を實行するとせば、収入の分々生活を取つて、残り二分を分外として貯金するやうにすれば容易に貯金が行はれると思ふのであります。

貯金永續の秘訣

- 一、餘り無理してまで多く積まぬこと。
- 二、預金帳を据置と當座の二冊にすること。
- 三、絶対に引出さぬやうにすること。
- 四、或る目的を立て家内一致して貯金すること。
- 五、生福に健康と經濟と勤勉の精神を鼓吹すること。
- 六、据置貯金の如き強制的の意を含んだ貯金でないと永續せず。

四、壹萬圓貯金法

これは即ち貯蓄利殖法であつて、貯金よりも利殖に重きを置いて

ある處が純貯金法より遙かに金銭運用に智的の作用を要する方法であります。而して其内容は先づ一日十錢宛貯金すると一ヶ月で三圓という金高になり、更らに一ケ年繼續すれば三十六圓、十ケ年では三百六十圓、百年續けても僅か三千六百圓にしかならぬ、然しこの金を一ケ年一割二分の利廻りに運用すれば三十五年で一萬圓になり二割の利廻りにすれば二十五年で一萬圓になると言ふのが此の一萬圓貯金殖法の根本原理であります。之れを復利で計算すると毎月三圓の金を一ケ年一割二分の利廻りにすれば卅五年で一萬圓になり、二割の利廻りにすれば廿五年で一萬圓になるは的白であります。毎月三圓と云へばどんな人にも實行されるところと思ひ早速取かゝつて見ると中

々思ふ様に運びません、途中で中止して仕舞ふのが多い、これは二件何處か不備な點があるからで其ふ備な點と申しますと、一割二分の利廻り二割の利廻りと云ふ事です。毎月、三圓宛の貯金は出来るとしても之れを四分五厘位で預けて置いては何時迄経つても一萬圓にならぬ、と云つて一割二分で預けてくれる様な處は絶対にないが茲に其貯金した一定の額を以て左のものによつて一割二分以上に廻す事が出来ます。

- 一、土地を買ふ事、
- 一、株を買ふ事、
- 一、金利を取る事、

の三つでありましてこの實行法に就ては別に利殖の部で詳しく御話
しする事に致します。

五、儲得貯蓄法

此の方法は節儉で貯金せよと言はずに從來の消極方針に反對して
儲けた金を蓄へ且之れを働かして利殖して行くと言ふ方法でありま
して之れを稱してアメリカ式貯金法と云ふのであります。然らば如
何にするかと申しますと、人は働くのが天性で靜止して其衣食住を
節約するのは彼の天分でない、然るに在來の貯金は人間の天分を抑
へて迄も老病死の爲めに備荒貯蓄せよと云ふのでありますから、
若し貯蓄が老病死の爲めにするものであるならば、貯金することは

何のことはない老病死を迎へ待つやうなものである。人間は生あれ
ば死ありで、短生涯に處して尙ほ無限無涯の活動するのが人間の面
白い所であつて、貯蓄に對するも亦之れと同様であると云ふのであ
ります。

老病死の用意を作らんよりは寧ろ生活の向上發展を計りて生存中
に安全生活を求むる方が一般の希望であり、之れあるが爲めに人は
財をし、邸宅を求め、美衣美食を要求するのが實社會の實情である
と云ふのが此の貯金の主義であります。従つて其貯金法は儉約に重
きを置かず寧ろ生活は普通にし、其剩れるものを蓄ふは勿論、更に
通常生活費以外に餘分に働いて儲け、其儲けた金を蓄へ且つ働かし

て利殖しやうと云ふのであります。而して此の貯金法は一步積極的
に利殖期間を長くした點が此の貯金法の眼目であります。

次には郵便貯金と銀行預金に就てお話し致します。

六、郵便貯金

人は誰でも金を溜めやうと思ふ時に一番最初に試みるものは、郵
便貯金であります。郵便貯金は改めて申上げる迄もなく政府の事業
でありますから安全確實ですし、又日本全國どの郵便局でも取扱ひ
ますから至つて便利です、しかし其利子は一ケ年に僅か四分八厘と
云ふ低利で元金が十圓なれば一ケ年の利子は僅か四十八錢しかなり

ませんから、決して有利とは言へません。それにこの利子とても預
け入れた月と引出した月とは利子を勘定しませんから、預金後一ケ
月で引出した場合は正味の利子は四分即ち十圓に對して利子は四十
錢しか貰へません、それ故郵便貯金に就いて注意すべき點は、もし
も引出さうとする場合は必ず月の初めにすべきです、月末の三十日
や三十一日に引出せば一ヶ月分の利子はフイにして仕舞ふことにな
ります。そこへ行くと同じ郵便貯金でも据置貯金となりますといく
らか有利です、据置貯金の利子は從來普通貯金と同様一ケ年四分八
厘でしたが、最近政府の發表した物價策に基いて五分四毛に引上げ
られましたから普通貯金よりも二厘四毛有利なわけです、但しこの

貯金はその名の示す通り一定の期限があつてその期限内引出されな
い不便があります。が之れは却つて貯金に對して自分の意志の弱い
人には持つて來いであります。

郵便貯金には切手貯金と云ふのがあります、これは子供の貯金に
は非常によろしい、一錢二錢と貰つた小使錢を郵便切手を買つて、
台紙に張りつけて廿枚出來たら郵便局へ持參して現金同様に通帳へ
記入して貰ふので自然に貯金が出来、又小供の爲めにも甚だ有益で
あります。

次に振替貯金と云ふのがあります、之れは銀行の當座預金と爲替
取引とを結合した様な貯金法で、頗る便利調法に出來て居る貯金法

でありまして寧ろ利殖よりも爲替事務を多く取扱ふ人々の是非共利
用すべきものであります。其他共同貯金、(名義を一人とし一冊の通
帳で組合員が預ける法)規約貯金(官衙等で一つの組合の如きもの
を作り其下に預ける法)などもあります。

七、銀行預金

銀行預金は定期預金、當座預金、小口當座預金(又は特別當座預
金)通知預金などあります。

當座預金は金銭の出入の多い人たとへば商人などは一日でも金を
遊ばして置くのは惜しいといふので銀行に預けて置き引出す際は小

切手を使用する預金であります。従つて出入が頻繁なため利子は安く利殖の目的に行ふ預金ではありません。

定期預金は普通五十圓以上を六ヶ月以上預け置き約束の期限に受取る預金で小口當座預金は最低五圓以上を預入引出す事は何時でも出来る預金であります。次に通知預金は引出す時は前以て通知する預金であります。而して利子を各々比較して見ますと

定期	甲年	六分程度	乙年	六分五厘程度
小口當座	甲日歩	一錢二厘程度	乙日歩	一錢三厘程度
通知預金	甲日歩	一錢二厘程度	乙日歩	一錢三厘程度

と云ふことになつてゐる、甲とは一流銀行、乙はそれ以下二流を云

ひます。さて以上の中何れがよいかと申しますと、定期の利子六分は日歩に換算して一錢六厘四毛(六分五厘)ならば一錢七厘一毛に當り、一番定期預金の利子がよい。尤も定期預金は一昨年所謂稅改正以來利子に對し或程度の割合で所謂所得稅を賦課せられ期限到來して受取る際に銀行の窓口で否應なしに天引される故實際の受取金額は甲種は五分七厘 乙種は六分一厘七毛五糸になる、また定期預金は期限以内に引出すことの出来ぬ不便があります、けれども、規定では期限以内に引出した場合は利子は付けないことになつて居るけれども、大抵の銀行は小口當座の利子並の利子を附してくれるから全然利子が皆無にならないから銀行に預金するなら一番定期が割

よいのであります。

八、信託預金

信託預金は先年臺灣銀行や興業銀行が初めたもので最近では信託會社で盛んに取扱つてゐます。大體の方法は最低の保證率を附して一定の資金を一定の期限まで預り、これを運用して利益を得た場合には保證率以外に分配すると云ふやり方で、臺灣銀行と興業銀行との信託預金は其後普通銀行から政府のお聲掛りの臺銀や興銀に此方の預金が減少すると苦情が出て中止されました。目下これを取扱ふ物の中で、有力なるものは東京の國際信託（資本金壹千萬圓十五銀行の背景）や大阪の關西信託（資本金一千萬圓關西財界の有力者の

經營) などでありませう。全國信託の預金部規定に就いて見ますと甲種信託預金

この信託預金は委託者が全く無條件または當會社の提供する條件によりその資金の運用を當會社に一任せられるその場合に當會社はこれを運用し、その利益より収益の百分の五以上の信託料を差引き残額を委託者に配當し期間は一ケ年以上一日三千圓以上であります乙種信託預金

この信託預金は委託者に対し一定の利益配當額を超過せる利益ある時は、一ケ年千分の五以上の保證料及總収益より引去りたる残額に對し百分の五以上の信託料を差引きその残額を追加配當として委

託者に配當することになつて居ります。期間は六ヶ月以上で金額は一口一千圓以上であります。

九、壹萬圓の利殖率

年	利	五十年後の増加率
三	分	四三八、三九〇
四	分	七一〇、六七〇
五	分	一一四六、七四〇
六	分	一八四二、〇二〇
七	分	二九四五、七〇〇
八	分	四六九〇、一六〇

九	分	七四三五、七五〇
一	割	一、一七三九、〇九〇
一	割二分	二、八九〇三、〇〇〇
一	割五分	一〇、八三七一、四〇〇
二	割	九一、〇〇一七、七八〇

第三編 債券

一、公債と社債

地方債券

俗に公債と言つて居る中には國債と地方債とがあります。國債と

言ふのは所謂政府の發行する公債のことで、地方債と云ふのは各地
方廳で發行した證券のことを云ふのであります。而して之れは縣廳
とか市役所で其の縣費の不足を補ふ爲めや、市財政の不足を補ふ爲
めに募集する一種の借金なのです。

社 債(債券)

社債は通例之れを債券と稱して居ります、債券と言ふ意義から云
へば國債も地方債も亦債券と見做すべきものであります。此等を
特に公債と稱し社債を一般に債券と稱して居ります。夫れから更に近頃
では世間一般の會社の社債と債券とを區別して民間會社の發行する
債券を社債と云ひ保護會社の社債を債券と特稱して他と區別してゐ

ます。其何れにしても社債は營利法人が發行する證券のことであり
まして、商法の規定に依り發行するものであります。即ち商法第二
百條には之を限定して「社債ノ總額ハ拂込シタル株金額ヲ超ユルコ
トヲ得ズ」としてあり、即ち社債は如何なる場合でも拂込資本を限
度として發行することを許して居るものです。今其債券の發行者並
に債券の名を示しますと

勸業債券	發行者日本勸業銀行
貯蓄債券	發行者日本勸業銀行
興業債券	發行者日本興業銀行
拓殖債券	發行者北海道拓殖銀行

農工債券 發行者各地農工銀行

南滿洲鐵道債券 同南滿洲鐵道株式會社

これ等の債券は皆政府の特別の監督を受けてゐる、而して其債券の發行するに當りても政府の認可を受けてゐるから他の營利會社の發行する債券よりも比較的信用のあるものであります。

今之れを種々利殖の方法より説明しますと

- 一、勸業債券又は貯蓄債券を買入割増金の當りくちを目的とするもの。
- 二、單に利子を取る。
- 三、割増を目的とせず安値に買入れ高値に賣放つ。

四、安値のものを買入れて好い利廻りを得る。
それから國債、公債社債では、

- 一、新たに發行されたる際に買入れ利子を得る。
- 二、既に發行されたるものを安く買取つて割のよい利子を得る。
- 三、安値に買入れ高値に賣放つて利を見る。
- 四、利子を取つた上それを證券信託に託して配當を貰ふ
- 五、額面より下つてゐるもので償還期に入つてゐるものを買つて償還を目的とするもの。

一、勸業債券利殖法

そこで以上各種の方法を順を追ふて述べましょう。割増金附勸業

債券、貯蓄債券での第一の方法は當りくじすればこれ程結構なこと
はありませんが何しろ十萬本からの籤の中から毎回二三十人宛の當
籤者を出すのであるから當るものなきにしもあらずですが、寧ろ當
らぬ方の運命が多い。第二の單に利子をとるのは最近發行の勸業債
券の利子は一ヶ年僅四分で、しかも百分の五の所得税を天引されま
すから實際の受取額は三十八錢になつてしまひ殆んど問題になりま
せん。

第三の方法はくち引きの濟んだ後を額面以下で安く買入れ他日額
面以上に復活した時に賣放つのであつて之れは金利の關係が相場に
絶えず影響するからこれを見込してやることが肝心であります例へ

ば一般金利が高い時は現在の値段が安い、亦經濟上の原則として金
利が下れば債券のみならず一般證券類が昂騰することになります。

第四の方法は値段が安くなつてゐる關係上利廻りもよくなつてゐ
て有利な場合、例へば第三十九回發行五分利附二十圓券は時價十五
圓九十錢（十月下旬）で含み利子即ち同債券の利拂月は八月なので
二ヶ月分の利子十六錢を除くと十五圓七十四錢となり、この利廻六
分三厘となることになります。又二十二回發行四分五厘利附二十圓
券は時價が十六圓で含み利子なく、利廻りは五分六厘四十四回發行
五分利附十圓券は時價八圓五錢含み利子十六錢を除き利廻六分三厘
となる勘定です。尤も利札には百分の五所得税が掛ると實際の利廻

りはいくらか減じます。

三、各種債券利殖法

次に國債公債銀行債券社債の利殖法については第一の新發行の分に應募して利子を得るのは不景氣で金利が高い爲め一般債券の利子がよい、場合にすべきことで、最近續々發行されてゐるものでは國債で六分七八厘、公債で七分、銀行債券で七、五厘乃至八分、社債で九分、一割近くになつてゐます。而して之れを列記して見ますと

債券種類	利子	發行價格	償還	最終利廻
郵便局賣出公債	五分	九十三圓	大正十七年	六分七厘五毛
め號國庫債券	五分五厘	九十七圓半錢	十四年	六分七厘五毛

東 京 市 債 六 分 九 十 三 圓 十六年 七分九厘七七
朝鮮殖産債券 八 分 九 十 九 圓 十四年 八分四厘
德山水力社債 八 分 九 十 八 圓 十三年 九分二厘八毛

右表の如く大低發行價格は額面以下で償還期が短期であるから甚だ有利であります。但し國債は所得税を免除される特號がありますから手取の利廻りは動きませんが、地方債は百分の四銀行債券は百分の五所得税を天引されるから實際は幾分利廻りが低下することになります。

國債公債銀行債券などを應募するに當つて隠れた利益あることを知らねばなりません。それは何んであるかと申しますと募集取扱所

が株式店の様な所であると割戻しと言つて取扱手数料の一部分を應募者に割戻してくれることです、割戻し額は大抵百圓について五十錢位ですが、それ丈利廻りがよくなることになるから、割戻しをしてくれる取扱店を選ぶべきです。又殖産銀行の債券の如く所得税を銀行で負擔してくれるのもあります。

第二の方法は新しく發行される公債社債が利廻りよければ古く發行されたものが安くなるのは自然の理です、時價が安ければ利廻りが高くなるからこの利廻りのよいのを買つて利殖するのです。古い公債社債の時價及利廻りについて二三のものを示しますと値段は裸相場（裸相場とは含み利子を省いたもの）

種類	額面	利率	時價	利廻	償還期
ろ號鐵道債券	百圓	五分	九拾圓拾錢	六分八厘四毛	大正二十年
拾五回北海道殖債券	百圓	五分	八十三圓半錢	八分七厘二毛	大正二十四年
五回滿鐵社債	百圓	六分	八拾五圓	八分八厘	大正二年
は號富士製紙社債	百圓	六分	八拾九圓	八分九厘參毛	大正九年

即ち其利廻りが銀行定期預金以上で最も安全なる利殖であると思はれます。

第三の方法は勸業債券を現在に安値に買入他日高値に賣拂ふて利益を得るのと同じですから茲に説明致しません。第四の方法は利子を取りつゝ之れを筆筒の底などに社藏せずして證券信託へ預け而して其利益配當を受くるのであります。

第五の方法は既に償還期に入つて居るものを買入れ、それが償還になりますと償還は額面で還つて來ますから、その利鞘丈利益となる最有利な方法です。一例を申しますと北海道拓殖銀行の第十五回拓殖債券は額面百圓のものが時價が八十三圓五十錢で既に償還期に入つてゐますから直ちに十六圓五十錢と云ふ利鞘が生じます。それが買入れて間もなくであつたらは八十三圓五十錢の現金に對し直ちに十六圓五十錢の利益があるから之程割のよい利殖法はありませぬ。尙債券利廻りは左の方法で算出す。

額面と買入價格の差
 一年利子 + 償還迄の年限
 時價

第四編 株 券

一、素人にも分る株券の話

茲に一大好事業がある、處が多大の資本が必要と云ふ時に發起人が集つて相談の上其會社の規則即ち定款を左の如く作るのであります。

一、目的

鐵道とか電燈業とか營む目的

二、商號

會社の名前

三、資本の總額

何百萬圓

四、一株の金額

五十圓又は百圓、一時に拂込むものは二十圓、といふのもある

五、取締役が有すべき株數

六、本店支店の所在地

七、同會社が公告をなす方法

八、發起人の氏名、住所

少くともこれだけの事を定めて發起人一同印を押し、それから目論見書といふものを作つて廣く株主を募集するのです、で此の目論見書といふ好には其會社の有望なる事を記き、次に此會社の收支豫算を掲げ、利益の配當は何割すると云ふ事を書き、前記の定款を示し、株式申込書が二枚宛つ付けられる、それで目論見書を見て、株式申込をする人が豫定の株數になりますと茲に資本金の四分の一を

拂込ませ、それが全部拂込みになると、創立總會といふ株主會が開かれて、其場で取締役三名以上監査役二名以上を選ぶ、又取締役の互選で社長一名、又は専務取締役一名以上を定めます、専務取締役は丁度商店の番頭の様なもので毎日出社して會社の事業をする者、其の他の取締役といふのは出社せず重大な事が出来た場合に相談相手になる、それから監査役と云ふのは會社の監督や會計の検査などをする役であります。

株券の種類には一株券、五株券、十株券と區別されて居ますが、一株券は小さい株主にはよいけれども、賣買上甚だ不便で取引所などは凡て十株を以て單位とし賣買されてゐます。

會社が成立してから二週間以内に其地方の區裁判所登記所に會社設立の登記所に會社設立の登記をします。そこで世人から會社と云ふものが認められるのです。株券の表を見ますと一株券なれば五十圓と書いてあり十株券なれば金五百圓、百株券だと金五千圓とある裏面を見ますと株主や拂込金額が明確に分り、株を買ふ場合は必ず裏面を注意して見る事が大切であります。それから第一回十二圓五十錢しか拂込んでない株だとするとアト三十七圓五十錢と云ふものは會社に對し株主が借金して居ると同じわけでありますから。之れを拂込まぬ間は株主の義務が残つてゐるわけです。

今其會社の將來が有望で配當を受くる場合なれば此の三十七圓五

十錢は喜んで拂込みますが、それに反して、いくら株金を拂込んで、も會社が益々缺損を續けると云ふ場合だと、誰だつて拂込みたくな、い、拂込まぬとなると會社は財産差押へて迄も取る権利があるから悪い會社に掛かると飛んだ失敗を招きます故に素人などはウツカリ新設會社の株などへ手を出さぬ方が安全であります。

二、名義書き換への仕方

今甲が乙へ名義が換ると、其株の権利や義務は勿論乙に引つがれるのでありまして、イクラ安く又は高く賣買されてもそんな事は會社はお構ひなく、只讓渡人と讓受人とが揃つて會社へ行き名義書換

をさせ取締役の記名調印を貰ふのが正規の手續であるけれども、もつと便宜な方法があります、それは賣方と買方とが二通委任狀を株券に添へて之を會社へ小包で送り、受取つた會社の甲と乙の事務員が買方や賣方の委任者となつて之れを書きかへて、小包で送り返して來る。會社は此の請求があつても名義の書換をせぬ時があります。その時期といふのは決算日から株主定期總會の終る迄であります。

會社には大抵年二回の決算日があつて其時に收支の決算をなし利益があれば其金高を株主に分配する、處が此の期間にもし株券を買つたとすると、其會社では名義書換を停止してゐるから、買つた人は利益分配を得られぬ事になりますから、「配當受取委任狀」と云

ふものを讀方に作らせて、之を持つて其分配を會社に請求する様にしてしないと配當丈の金を人に取られることになります。

三、決算報告

今資本金二百萬圓の或株式會社が半年間に十萬一千圓の利益を得たとすると商法の規定により第一法定積立金に資本金の四分の一になる迄は必ず利益の二十分の一以上積立金として利益金から差引いて其残りでない株主に配當することが出来ません。これ即ち會社の基礎を固める爲めに出來た法律で定めたもので之れを積立てると云ふのは株主の利益であります、然し積立金が資本金の四分の一に

達した場合即ち二十五萬圓出來たらば其會社は法定積立金はせなくてよい事になります。故に古い會社での決算報告を見て此の法定積立金といふのがないのは會社が立派に出來てると云ふ證據なのです。別途積立金又は準備積立金といふうは法律では定める處でありませんが、會社の定款によつて定められたものでこれは其會社の家屋なり器械なりが役に立たなくなつた時支出するとか、又は利益が少くなつて配當が餘り少いと云ふ時に之を持ち出すのであります。

役員賞與金といふのがある、これは社長取締役監査役等に分配さるべきもので、會社員とても賞與金がなければ一生懸命働いて會社の利益を計る人がない。

次に後期繰越金といふのは決算をして利益をスツカリ分配して仕舞つては會社は無一文となつて營業に差支へる事になるから、利益の内から若干後期へ繰越すことになるのです。

此の如く收支決算書といふのは其會社の善悪を見分けるに最も都合がよいから必ず株券を買ふ場合は決算書を熟覽することが必要です。

四、利廻の見方

今度は一株につき三圓十五錢受取つたとして、年一割五分に當ると云ふ勘定は此の三圓七十五錢は半年分の收入であるから一年には

此の倍七圓五十錢の配當である。それで五十圓券であるから

$750 + 50 = 800$ 即ち一割五分

それから此の五十圓拂込のをも七十圓で買つた場合は

$750 + 70 = 820$ 即ち年一割〇分七厘

此の如く株券は拂込みの金額より高く買へば配當の金高が割合少くなり、反對に拂込金より安く買へば配當金の割合がよくなるので、之を利廻といひ、株券を買ふには先づ第一利廻に注意する事が肝心であります。會社がよくても高く買へば利廻りが少なく、但し如何に利廻りがよくても會社の實質が悪くては何にもなりません。今度時價を見て利廻りを算出するには

拂込 配當 値段

日本銀行株	200	一割二分	503.35
第百銀行株	100	一割	141.50

日本銀行、 $200 \times 12 + 503.35 = 478$ 即ち四分七厘八厘

第百銀行、 $100 \times 1 + 141.50 = 709$ 即ち七分九厘

右によれば日本銀行株は四分七厘八毛なるが第百銀行株は七分以に廻るから有利なることが分る、今度はこんな考へを起す、第百銀行の株は今七分九毛に廻るが、世の中の景氣がよくなると必ず六分の利廻りになる迄買はれるに違ひがない、果してそうであるならば何程迄上るかといふ事を知るには

$100 \times 1.0 + .06 = 166.66$ 即ち拂込 \times 配當率 $+ 利廻 = 答$

即ちその場合は一株百六十六圓六十六錢迄買はれるに違ひないから今日の値段百四十一圓五十錢で買ったとすると其時に賣れば一株に付二十五圓十六錢の利益を見ることが出来ること云ふ風に見込みを付けるのであります。

五、安全なる株式利殖法

株式利殖法にも色々種類がありますが即ち株式の定期を利用して短期に儲ける法と現株を賣買する法と確實な株を買つて配當を利得する法、鞘取りをして利殖する法又は現物で定期を利用する法等があります。

しかし純定期賣買は甚だ危険な點があります。うつかり素人が之に手を染めると、元も子もなくして仕舞ひます。

然らば其最も安全なる方法は

東京電燈の親株を十株買入るとする、この株は五十圓拂込で時價が七十三圓十株で七百三十圓になります、それに對し配當は一株に付年一割四分である故に配當金は、一株七圓十株で七十圓になりこの利廻りは九分七厘となり、銀行の定期預金などより遙に有利であります。

今この例にならふて諸株式の中その有力なるものを選んで最近現物相場場で利廻りを示しますと

六、一流株表

銀行株

株種	一株拂込額	時價	最近配當	利率
日本銀行	二〇〇 _円	七〇〇 _円	一、二 _円	三、三
勸業銀行	五〇	七〇	一、〇	七、一
第一	五〇	九八	一、三	六、五
紡績株				
鐘紡	五〇	三〇二	七、〇	一、二五
日清紡	三五	八八	二、八	一、二一
製糖株				

大日本製糖	五〇	八四	一、五	八、九
明治製糖	五〇	六七	一、二	八、九
鐵道電氣鐵道株				
南滿洲鐵道	一〇〇	一〇二	一、〇	九、八
東武鐵道	五〇	七六	一、四弱	九、二

電燈電力瓦斯株

東京電燈	五〇	七三	一、四	九、七
宇治川電氣	五〇	五五	一、二	一、〇九
東京瓦斯	五〇	五四	九	八、三
汽船株				

日本郵船	五〇	八八	一、五	八五
大阪商船	五〇	四二	一、〇	一、一九
取引所株				
東京株式取引所	五〇	一一七	一、二	五、一
大阪株式取引所	五〇	一〇四	一、二	五、七
東京米穀取引所	五〇	一二五	二、三	九、一
鑛業株				
日本石油	五〇	六八	一、五	一、一〇
北海道炭鑛	五〇	三九	八	一、〇二
製紙株				

王子製紙	五〇	一二三	三、〇	一、二三
富士製紙	五〇	五一	一、五	一、四七
飲料株				

大日本麥酒	五〇	一二三	三、〇	一、二三
日本製氷	五〇	八三	二、〇	一、二〇

右によれば利廻りは銀行株、取引所株を除いては大抵八分以上中には一割何分といふのもあり、しかもこれ等は勢力あり信用ある所謂一流株になつて居るかくの如き好利廻りであるからそれ以下の會社になると一層よくなつて一割五分から二割と云ふものが澤山あります。

七、株を買ふ時の注意

しかし株式を買入れるに注意しなければならぬのは單に利廻りがよいからと云つて無暗に買付けてはならぬ、何となれば配當率の如何で必ずしもその會社の堅實か否かを識別する標準となりませぬ。即ち利益がないのに利益を胡魔化して所謂タコ配當をする場合が往々あります。それで株式に投資するには會社の事業状態はどうか、經營方法はどうかであるか、財産状態は如何と云ふ點に付いて精密なる調査を要す次第であります。けれどもそれを調査するにはその方面に通ずる人でないと素人では一寸分り兼ねる、例へば戦時好景氣時代に十割も配當した郵船株が今日一割五分に減少した。又製糖會

社が今日一割前後に減配するとは見分けがつかず、但し一般の原則としては汽船會社や紡績會社其他製造工業などは事業に衰盛あり、従つて収益状態に影響を及ぼすことになりましたが、鐵道、電鐵、電力、瓦斯などは盛衰なく、あつても微々であります、故になまじかな考へで紡績株などに手を出すよりも堅實一方の鐵道、電鐵、電燈などを買つた方が間違ひありません。

八、最有利なる利殖法

そこでこれらの堅實な株を買ふことにして、更らに買入れた上尙ほ一層有利にする方法があります。その方法は假に東京電燈株を十

株買つてそれを銀行に擔保に入れて金を借り、その金で又同じ株を幾株か買ふそして金を二重にも三重にも運轉させます、今其方法によつて最初は

東京電燈株十株元金

七百三十圓

この配當

七十圓

この利廻

九分七厘

ですから之れを擔保で借りると、普通七掛にして金を貸しますから七掛とすると五百十一圓になり五百十一圓あれば新たに七株買ひ足すことが出来ます。さうするとこの場合の利廻りは銀行の利子五分を拂つて左の如くなります。

東京電燈十株元金

七百三十圓

この配當

七十圓

東京電燈株七掛配當

四十九圓

合計配當

百十九圓

銀行借入金

五百十一圓

この利子

四十圓八十八錢

差引利益

七十八圓十二錢

この利廻

一割七厘

而して相場が下落すれば利殖法に根本に狂ふもそれは堅實な電燈株なれば萬一のことはありません。

九、鞆取り賣買法

鞆取賣買は資金こそ多く要するが、百發百中、決して損のない利殖法であります。此の方法で巨萬の富を作つた人は非常に澤山あります。

此の鞆取といふのは定期取引に於ける當限、中限、先限の値段の差（即ち鞆といふ）を儲ける方法なので之れを鞆取賣買と云ひます。

新聞で相場欄を見ますと分りますが、普通當より中が高く中より先が高い、これは利子の關係なれば當然のことであります。これを順鞆と申します。然るに時々當より中が安いとか中より先が安いと云ふ事があります。これを逆鞆と申しまして、將來を悲觀された場

合と、配當を分配された後の値段即ち配當落の場合とあります。今それを左に示しますと、

	順鞆の場合	利益配當が 六月にある場合
當限(五月限)	五十圓四十錢	五十圓四十錢
中限(六月限)	五十一圓三十錢	五十一圓三十錢
先限(七月限)	五十二圓二十錢	四十九圓七十錢

前記の五月限は五十圓四十錢で、七月限は五十二圓二十錢とすれば、其鞆は一圓八十錢あります。利益配當落の方も五月と七月とは七十錢の逆鞆ですが實は會社から配當を貰へるから、之れを計算すれば矢張同じ鞆があることになります。

此の如く一圓八十錢の鞘を儲けんとするには、當限の五十圓四十錢を買つて、先限の五十二圓二十錢に賣ればよいのです。それには當限(五月限)で買った株は五月三十日には引取らねばならぬし、先限(七月限)に賣つたものは七月三十日に現株を引渡さねばなりません。それ丈の手數をして始めて一圓八十錢即ち十株であるから十八圓儲かるのでありますが、この外に二回分の手數料を支拂はねばなりません。故に今之れを積算しますと

賣付 (七月限) 十株代金	522圓	
買付 (五月限) 十株代金	504	差引 鞘
	18	

五月三十日に十株代金を仕拂つて現物を引取る其には其株金外に

手數料も取られる故に

(引取代金) 十株分	504.00	
	3.50	
(手數料) 十株分	507.50	合計支拂金

それから又七月三十日に株券を渡して代金を受取るが其中より手數料丈差引かれるから其計算は

(渡株代金) 十株分	522.00	
	3.50	
(手數料) 十株分	518.50	差引受取金

此の鞘取賣買の利益はツマリ五月三十日に五百七圓五十錢を拂つて置いて七月三十日に五百十八圓五十錢受取ることになりますから、差引六十四圓に十一圓丈儲つた事になります。

この十一圓の利益は始めに出資した五百七圓五十錢に對し如何程の利廻りになるかといふに

$$11.00 \div (507.50 \times 60) = 0.0361 \text{ 分}$$

即ち日歩三錢六厘一毛に當り之を更に年利に換算しますと略一割三分となりませす。

十、簡單なる景氣逆利用金儲法

此の方法は、所謂經濟界循環を利用する利殖法でありまして、好景氣の時は皆人が金を散じますが本法は必ず逆に出で、銀行や郵便局に預けて置いて、最低五十圓から百圓迄でも出る、其金をデット不景氣の來るのを待ち株式が低値に落込んで保合つて居る時、現物

(東西取引所建株に限る) を十株(賣買は十株單位端株は賣買に出合がない)五十圓乃至百圓で金額拂込濟のものを物色する、(配當率、經營者の腕前を一寸調べて置く)そして取引員に名儀書替をヤツテ貰つて自分の物とします。

それからは年二回の配當が會社から來ます(尤も不景氣の時は多少配當減はまぬかれません)から、それに甘んじて居つて景氣の回復を待ちます、其間は辛棒して天職に働いて居ります。光蔭矢の如しで三四五年と立つ中だんく近づいて來ます、モウ占たものです配當は増加するし値段は波瀾があつても次第に高くなる一方三倍位はキット暴騰します。一例を示しますと、久原親株は不景氣のドン

底で五十圓額面を割り込んで居りますがアレハ不景氣で銅價暴落の爲めであるからで、戦時好景氣の際は最高二百六十六圓迄暴騰した歴史を持つて居ます、之が何寄の證據です、故に十株で二千六百五十圓であるから三百圓で仕入たとすると、實に八倍半強の値段の差額であります、従つて二千三百五十圓の利益となります。尙配當があるからそれ丈でも銀行利子以上の利廻りになります。但し之は必ず不景氣に仕入て、好景氣に賣る主義でなくてはなりません。

尙ほ好景氣の天井を逸せず賣る外に、不景氣の兆候(材料先見法)によつて隙さず、現株を定期で賣りなげば、大暴落時代となつて、短期間に一車千里の勢で其金が又數倍額になる、何んどボロイ事では

はありませんか。

若し資金の足らぬ場合は銀行へ株券を擔保に入れ(配當はこちららの物で貸出しを交渉すれば直ぐ應じて呉れます、二錢内外の貸出日歩(年七分三厘)位は何んでもありません、故に之れを活用して二重に金儲けが出来ます、現に此の法は故安田翁式の金儲法であります素人としてはなまじかな定期へ手を出すより、いくら安全確實な金儲け法であるか知れません。

十一、十年間壹千圓株式投こ 預金の比較

(分五利年) 金 預 行 銀

一年	一、〇五〇、〇〇
二年	一、一〇二、五〇
三年	一、一五七、六三
四年	一、二一五、五一
五年	一、二七六、二八
六年	一、三四〇、〇八
七年	一、四〇七、〇八
八年	一、四七七、四三
九年	一、五五一、三〇
十年	一、六二八、八六

(分五割一年) 資 投 式 株

一年	一、一五〇、〇〇
二年	一、三二二、五〇
三年	一、五二〇、八七
四年	一、七四九、〇〇
五年	二、〇一一、三五
六年	二、三二二、〇五
七年	二、六六〇、〇〇
八年	三、〇五九、〇〇
九年	三、五一七、八五
十年	四、〇四五、五三

考 備

十年後の金利金六百二十八圓八十六錢
元金に對し六割二分八厘強となる

考 備

十年後の利益金三三〇四十五圓五十三錢
元金に對し三十割四分五厘強となる

第五編 金 融

一、銀 行

銀行業は金融機關中でも中樞の位置を占めて居ります丈に、財界と甚だ關係が深い、其手加減一つで好景氣、不景氣に多大の影響を及ぼします。例へば金蛹の緊縮を企て貸出しの制限した爲め、一層

財界の不況を來たします。又銀行が倒れたり支拂停止をしたりすると云ふ事は自繩自縛のことですがこう云ふことが財界事情が面倒になつて來ますと一波は萬波を起し信用受引が險惡となり、銀行側も警戒注意すれば、銀行を利用する預金者や融通を求めて居る人も一層の注意を必要とします。故に財界の責任者は銀行であると云つてもよいのです。

日本の銀行業の經營方針には二つの大方針があります、其一つは預金主義で一つは兼營主義であります、預金主義と云ふのは銀行の信用で出来るだけ、多くの預金を公に集め、其金を商人や實業家に貸出して利鞘を儲けて行く營業の方針です。後者は他人に貸出す爲

めに預金を集めるのでなく、其集つた金を自分の營んで居る他の事業の資金に振り向けて行かうと云ふ營業方針であります。此の二方針の善悪是非論は暫く別として、如何なる銀行が、預金主義で如何なる銀行が兼營主義であるかと云ふに、第一銀行、第三銀行、第一百銀行、安田銀行、第十五銀行の如きは所謂英國流の預金一天張りの銀行であります。之れに反して三井銀行、三菱銀行、村井銀行の如きは何れも獨逸流の兼營主義の銀行であります。兼營主義銀行即ち公衆から銀行の名義で預金を集め其の預金を自己直營の各事業に振り向けて居るのであります。最も是等の銀行中でも二流銀行になれば平素から拂戻準備金を用意してあるから、決して公衆に迷惑をか

けることはありませんが、二三流の機關銀行にならんと兎角此の兼營主義の銀行に危険がある故に先づ第一に銀行に預金をせよと思ふ場合は其銀行の信用價值を鑑定してかゝる必要があります。

預金主義銀行何れかと云へば此の銀行業は社會組織の一機關としては之れを、血管血脈とも見るべきものであります、人身に血液の運行が圓滑に行はれなければ、病氣にかゝるとか、死去すると同様に、社會にも此等の銀行業者の營業が圓滿に行はれて、金融が滑らかに行はれないと、直ちに不景氣になつたり、恐慌になつたりします。夫れで銀行が其天職とも云ふべき金融を圓滑に行つて行かうと云ふには矢張り預金主義に重きを置いて、山氣を出さぬことです。

同じ營利を目的としても銀行が一攫千金を夢みないで薄利に甘んじて確實な利鞘儲けに満足して行く様でなければなりません。

二、銀行の種類

銀行には營業方法から二つに別かれることは申しましたが更に之れを細かに分類しますと、今日日本に行はれて居る銀行には特種銀行と普通銀行とあります、而して特種銀行には、更に總裁銀行、農工銀行、貯蓄銀行と云ふ具合に分かれ、普通銀行にも富豪の機關銀行とか、株式店の機關銀行とか云ふ具合に、色々顧客を別にして居るが、何れかと言へば普通銀行は營業方針が預金と兼營とに分かれる

だけで、組織に於ては別に變りはありません。

夫れなら特種銀行中の總裁銀行と云ふのは如何なる銀行かと申しますと、

日本銀行、
正金銀行、
臺灣銀行、
朝鮮銀行、
勸業銀行、
興業銀行、

等の銀行のことでありまして、此等の銀行は何れも半官半民の經營

で、其頭取のことを特に總裁と言ひ、總裁は株主の公選で規めるのではなく、一に政府當局の任命に依つて定まるのであります。又同じく金融業ではあるが日本銀行は大藏大臣直營の下に中央金庫の役目を爲し、預金も貸付も主として同業者たる市中銀行を相手として營業なし、併せて紙幣の發行を營んで居るのです。日本國內の金融の調節は一々此の日本銀行の方針一つで定まるのです。正金銀行は俗に爲替銀行と稱し、外國貿易を爲す人々の爲めに爲替手形の割引等を爲す銀行です。臺灣銀行と朝鮮銀行は共に爲替銀行の事務も取扱ふが、生として植民地人民の爲めに普通銀行農工銀行の如き働きを爲して居る銀行であります。

之れに反し勸業銀行は主として農工業者に對し、不動産擔保に融通を計つて居る銀行で、此の銀行に限り銀行營業の營業資金を集める方法として、割増附償還の債券を發行して公衆から資金を集めて居ります。即ち勸業債券と云ふのは此の銀行の發行する一種の借用證文であります。

同じく特種銀行と云ふ中々も全然民間事業として各府縣保護の農工銀行と云ふのがあります。資金は預金を受け債券を發行して集め其金を農工業者の資金に不動産を擔保にして融通して居る。次に貯蓄銀行であるが此の銀行の普通銀行と異なる點は五圓以下の零細の金を預かるのでありますが、矢張普通銀行同様に一般の預金も預かる

が、特に異なる點は三年積立、五年積立の据置貯金を預ることです。今全國の富豪が銀行を左に示します、

三、全國銀行一覽表

東京の部

銀行名	經營者	資本金
三井	三井 高保	一〇〇、〇〇〇 <small>千円</small>
三菱	岩崎小彌太	五〇、〇〇〇
安田	安田善三郎	二五、〇〇〇
川崎	川崎八右衛門	一、〇〇〇
中井	中井新右衛門	一、〇〇〇

神田	岡本	西脇	尾張屋	廣部	田中	今村	森村	田中	田中前業
神田	岡本忠三郎	西脇清三郎	峯島茂兵衛	廣部清兵衛	田中武兵衛	今村繁三	森村開作	田中平八	田中榮次郎
一〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇	七〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇

二十七	小池	金原	矢澤	太宰貯蓄	河合	淺田	妹尾商業	東海	村井
渡邊治右衛門	小池國三	金原小三郎	矢澤小兵衛	太宰文藏	河合德兵衛	淺田甚右衛門	妹尾猪助	菊池長四郎	村井吉兵衛
一〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇

深田	深田米次郎	七〇〇
秦昌	赤星鏡馬	一〇〇〇
山中	山中隣之助	一〇〇〇

大阪の部

山口銀行	山口吉兵衛	二〇〇〇
住友	住友吉右衛門	七〇〇〇
鴻池	鴻池善右衛門	三〇〇〇
加島	廣岡惠三	一〇〇〇
野村	野村徳七	一〇〇〇

横濱の部

平沼銀行	平沼久三郎	一〇〇〇
左右田	左右田喜一郎	一〇〇〇
若尾	若尾茂造	五〇〇
渡邊	渡邊彌太郎	一〇〇〇

神戸の部

岸本銀行	岸本佳太郎	一〇〇〇
川崎	川崎芳太郎	五〇〇〇
岡崎	岡崎藤吉	一〇〇〇

補遺の部

若尾	若尾謹之助	五〇〇〇
----	-------	------

甲府市

大野	大野傳兵衛	一〇〇	千葉市
伊藤	伊藤守松	一〇〇	名古屋
西宮	八馬兼介	五〇〇	兵庫縣
大西	大西甚一郎	一〇〇	同
高木	高木重兵衛	二〇〇	京都

四、銀行利用法

一般に銀行取引としては、種々の方面から種々の交渉があります。銀行に預金するについては大した利用と云ふ文字の用がありませんから、主として銀行から金を借りる方面について話します。

それには善用と悪用とありますけれども、悪用の方はしばし置き、善用のことについてあります。先づ銀行から金を借りる場合は第一商業手形の割引第二、有價證券擔保割引、第三商品擔保割引、第四融通手形、第五不動産抵當等でありまして、それ／＼種類に應じまして利率も異なり、銀行によつてはその中の或物は取扱はない處もあります。すべてを通じて借る方で最も注意しなければならぬことは常に銀行と最も親密なる交際をし、商店の財産状態その帳簿商賣のやり口を銀行家側に時々見せて、絶えず連絡をとつて置かねばなりません。然るに往々銀行とこちらとの間が疎隔されて居る爲め立派な商業手形や財産を持ちながら、用をなさず苦んで居る人も

あります、銀行家は非常に多くの人を顧客としてゐるから、従つて多くの人、多くの利用者に對して誤解を抱いてゐることがあります。そこで利用者は常に心得の行く様に親切に偽らざる説明を怠らぬ様にし自己の商賣に對して銀行側の誤解を惹き起さぬ様にすべきです。斯くすれば銀行側は必要に應じて回収の見込ある最大限度の貸出しもすれば手形の割引も、快く利利にやつて呉れます、これが銀行利用の根本的方法であります。

五、信託業の話

信託業の起原由來は、英國に發したものでありますが、それより

漸次發展し來たり終には銀行で之れを兼營して營利的に營むやうになつて來たのですが、更に米國にありては一層此の事業が改善され發展し其信託預金は殆んど銀行預金を凌駕し投資額の如きも莫大な金額に上つて居ると云ふことですが、之れは獨り米國に限つたことでなく最近日本にも漸次發展し流行して來ると考へられます。まして信託法案が通過し信託業は資本金百萬圓にして拂込金五十萬圓以上と云ふことになり、事業としては他人の財物を預つて管理保護し若しくは之れを殖殖増殖して行き併せて擔保付き社債の引受け、株式の引受けなどを營業としてよいと云ふことになつて居ります、斯うなると財産の安定と云ふことが從來よりも一層有利になり、安全

以外に利殖と云ふことが伴つて来るから將來は益々この會社の信用あるものに依頼者が増加すると考へられます。

就中預金の如きは郵便局や銀行では勢々年五六分に止まりますが之れを信託預金にすれば年一割以上二割近くにもなり財界の景氣の時代には一層利益配當が増加する見込みがあります。

最も普通一般に何等の制限なしに預金を預つたのでは銀行に抵觸することになりますから、信託の方では一定の金額と年限とを規めて預かることになります。即ち一種の長期定期預金は一切信託會社が預ることになります。こうして信託は事業を營んで公衆と共に利殖を計るものですから言はゞ一種の民間利殖銀行とも云ふべきです。

六、信託會社の利用法

世間には相當の資産を有する大作家も、自己の業務が美術家であるとか、農業者であるとかして、金融界の實際と甚だ掛け離れた生活をしてゐる爲めに、その資産の運用方法に疎いとか、又はそう云ふ機會を捕へることが困難であると云ふ立場に在る人は多いのであります。こう云ふ人々は今後大いに、信託會社を利用するがよいのであります。先づ現金であるならば信託會社へ信託金なり又は代理貸付金なりとして預ければ可いのです。

之れを預つた信託會社は資本主に代つて不動産擔保の貸付けなり取立てなりは夫々其の道の専門の知識と十分の經驗とをもつてゐる

ものが擔任するのでありますから素人などが爲るのよりも遙かに安全に且利益多いのは勿論であります。そして委託者の希望に依つては其の信託金に相當する不動産抵當物件の出合のない場合でも信託會社自身の責任を以て一定の元利を保證して呉れます。その利率は時により會社により相違あるものですが東京信託株式會社では年七朱見當の保證利息を附けて居るやうです。

若し又其財産が土地や建物のやうな不動産であつたら何うするかと申しますと之れも信託會社へ管理を託すればよいのです。つまり信託會社を差配人とするのと同じであります。

委託を受けたその土地建物を適好と認める人に賃貸してその地代

なり家賃なりを取集めて、毎月一定の日に精算表を添へて委託者へ納付します。その土地家賃の額は豫め委託者の承諾を得て居る額であることは勿論であります。

その他修繕の世話もすれば諸官署に對する願届より萬一その土地建物に關して訴訟でも起つた場合は、其の代理處辨をも喜んで應じて呉れます。

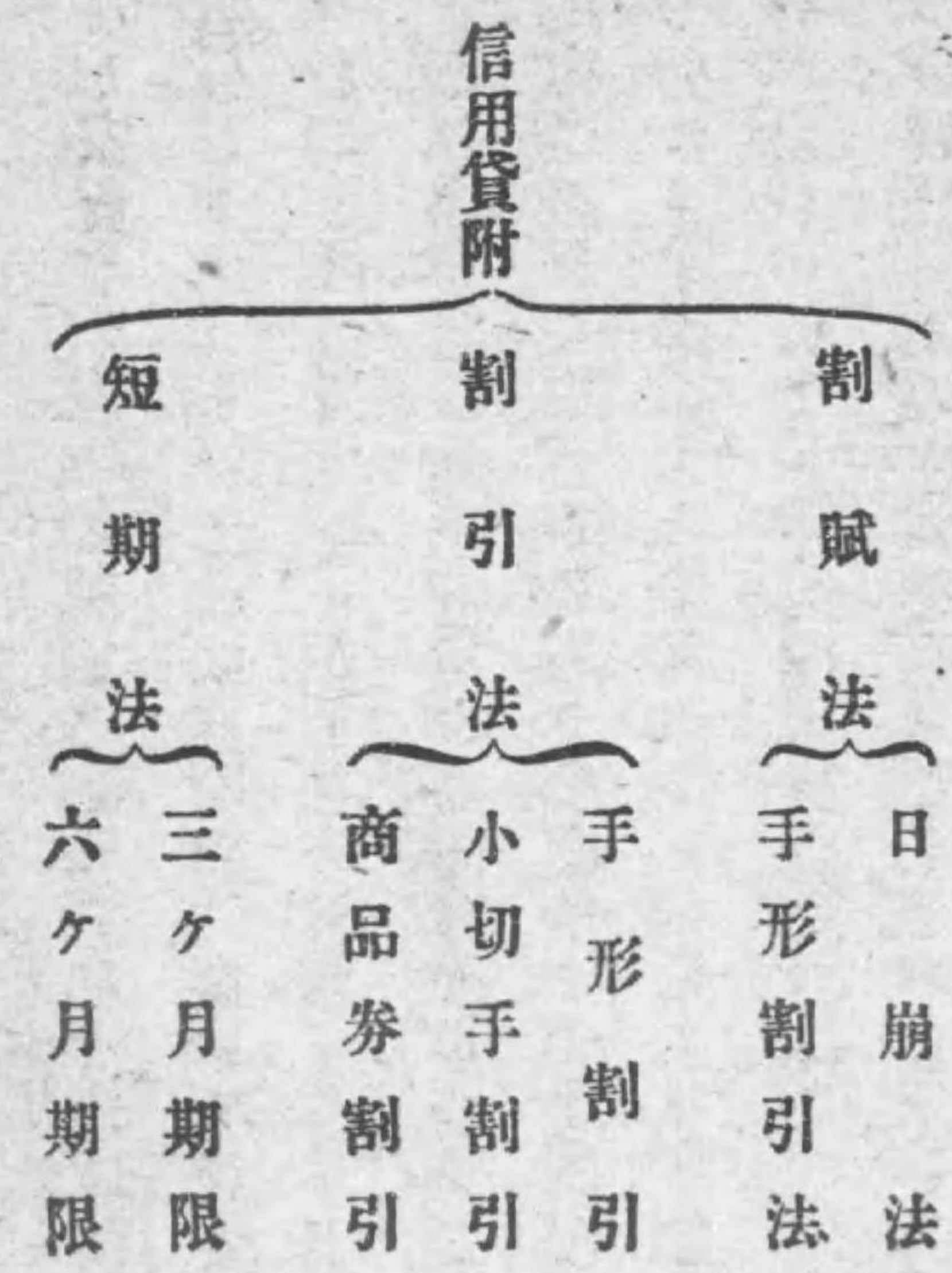
七、各種貸附法

金錢貸附業の種類を示しますと

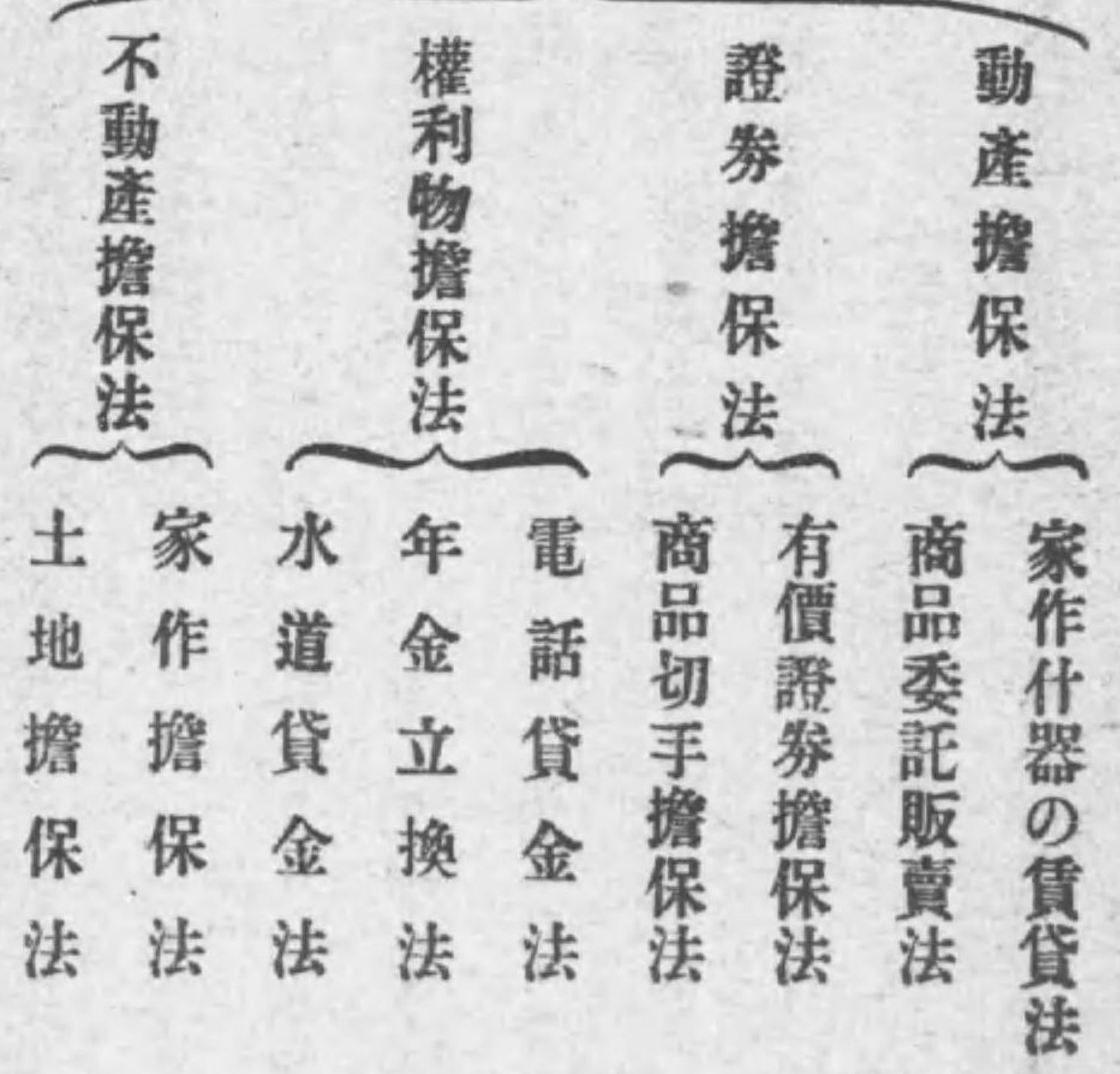
信用貸附、

擔保貸附、

とになります。而うして此等の貸附法にも亦夫々幾多の區別があります即ち



擔保貸附



と云ふ具合に區別されます。此等の中殊に嶄新と思はれる方法は

小切手の割引、動産の擔保貸附であります。存外ポロイものには手形の割引、有價證券の擔保貸年金立換などです。

資金が少額の時に最も面白い貸附法は小口貸金の日崩法と月賦法であります。日崩法といふのは五圓の借用申込者があると普通は初めに五分の手敷料を天引して四圓七十五錢の現金を借用者に渡し、金利は六十日間割濟として月一割宛二ヶ月間二割の利子として、借用證文には元金五圓と利子一圓とを合計して金六圓の借用證文に認めさせ其翌日から毎日十錢宛を取立て、六十日間に皆濟させるのです。

然かし若し滞納した場合は證文を更正して貸借契約を新規にする

様にして行き一方で取立てた日々の回収金は即時新規に貸附けて行く方法であります。此の時の證文の書き方は普通の金錢借用證文で私製證書として連帶人二名本人ともで三名の連帶借用にして置き何時でも公正證書の出来る様に各借用人の印鑑證明を取つて置くのであります。之れは帶納すれば直ちに差押へするといふ一種の恐嚇策であります。然かし實際は日崩貸金は金高が五圓とか十圓とかいふのでありませんから内實は私製證書のまゝにして置く此の方法で特色とする點は日々貸金を回収に趣くから借用人の現狀を監視することが出るのと、日々錢が回収されることであり、従つて此方は初めに借用人の身許調査を十分にすれば決して失敗することは

ありません。

之れに次いで有利なものは月賦法であります。日崩貸付小商人就
中行商人を目的とするのでありますが、月賦貸金は官公吏とか教員
會社員の如き月給取生活者を相手にして貸付ける方法であります。
之れも借用人を十二分に調査してかゝると善いのですが何分にも一
ヶ月間内は催促することが出来ませんから、其間に辭職したり轉職
したりする、夫れから中には死亡したりすることがあるから一寸危
險率が多い、夫れでも連帶保證人の二名も立て、月給受領の委任狀
を二三枚取つて置けば十中八九は大丈夫です。夫れで相手が契約を
破棄しやうとしたら差押をすれば大抵大丈夫であります。然かし如

何なる種類の人を主として貸すべきかと申しますと、官吏教員が比
較的真面目であり、會社員と來ては寧ろ鼻摘みであります。公吏と
云ふ役場吏などは寧ろ敬遠した方がよい。

手形割引と云ふのは、約束手形を借用人に振出させ、之れに有力
な裏書人を置かせて利子を天引し金を貸附ける方法であります。之
れは主として大金を貸す場合に、相手方の商人なり實業家なりの内
容調査を十分にし若し不履行の場合如何にすれば資金が回収出来る
かと云ふ見定めが付いたら、手形割引に應ずるのです、通例日歩五
十錢から一圓五十錢所で即ち、金額百圓を融通して一日の利子が五
十錢から一圓五十錢で取扱が出来て居ります。故に此の手形割引が

甘く行き相手方が確かであれば之れ程有利な利殖法はありません。

小切手割引と云ふのは大阪や東京では一寸した商人は大低富座割引をしてゐる、然るに月末の回収金が面白くないと云ふので當面の支拂ひに一寸困ることが往々ありますから、其期日迄に入金せぬと銀行からは解約せられると云ふ様な場合には、信用上に關係しますから少々高利でも借りに來ます。其時に商人から先き日附の小切手を振出させ、別に何人かの證人を立てさせて日歩六圓に就いて一圓とか一圓五十錢宛の利子を取つて貸附ける法です、之れ亦最近の貸附法として頗る有利な方法です。

擔保貸付法中で、之れはと思ふのは小資金の時には動産貸附の、

大資金の時には有價證券擔保の貸付けで有ります。動産擔保はどうするかと申しますと、矢張り或意味から云へば信用貸付の一種であります、借金はしたいが、保證人を頼んだりして暗闇の恥を他人に知らすのはいやだと云ふ様な借付者に向つて、其屋内にある、家財道具を一應買取つたことにして夫れだけに金高を貸付け（勿論貸金するだけに評價する）而して家財道具は其のまゝ貸貸にして借用人に貸付け、利子として毎月貸貸料を取る方法であります。それであれば借用人が契約不履行の時には家財道具を持ち來たつて競賣に附すればよろしい、借用人が其契約物の一品でも持去れば罪人になるから頗る安全な方法です。

商人委託販賣貸も之れと同一法で保證人は出せぬが店には之れ丈の物品があるから之れを擔保にすると云ふ様な時に、物品を持て來れば質屋法に觸れるから、先づ其物品を一應自分の名義にし、自分の物品を其店主に委託して賣らし其の賣上金の幾部分を受取ると云ふ方法で貸金をするのであります。

八、安全な貸附の手段

今假に貸金が時代に適應した利殖法であるとしても、其方法手段が甘くなければ、貸金業は兎もすれば貸倒れが多い、巧妙な詐欺もあればベテンもある、迂濶にして居ると利殖どころが元金も全部丸

損になります。

然らばどんな手續と手段を執れば此の危険が防がれるかと云ふに擔保貸付けの場合には、普通の注意さへすれば滅多に引懸りませんが、信用貸金の時は往々借用人の共同詐欺や夜逃げなどに逢ふことがあります。實際不景氣が続くと、一方に貸金業者がはびこると同時に、貸金借倒しを一つの商賣にするものが出来る、それで左の如く注意してやるがよろしいのです。

- 一、信用代理は公正證書にすること。
- 一、必ず單獨貸附にして連帶保證人にすること。
- 一、期限を出来る丈短期にすること。

- 一、取立てはなるべく頻繁にすること。
- 一、顧問辯護士を置いて絶へず處置をとること。

九、短期に千圓を壹萬圓にする法

金を貸して十六ヶ月間に一千圓を一萬圓にするにはどんな方法を取るかと申しますと、金は貸すことは出来るが、回収が困難である夫れは金を借りて初めから踏み倒す考のものは少いが、借金する位の者は、返せなくなるのです。これは貸す方も餘程注意すべき處で其人の力を見計らつて、返せる丈の金を貸して置けば倒れはないのであります。

此の論法から行きますと、金貸をするには、巨額の資金の融通よりも、小額貸金の融通の方が危険率が少ないことになります。元より一千圓の金であるから、大金は貸そうと思つても貸せませんが、夫れでも百圓二百圓と纏つた金を貸すのは手数はかゝらぬが危険が多い、夫れで金貸をするなら先づ日掛の信用貸がよいと云ふことになります。

此の方法は、一口貸出高を三十圓とし、六十日間に毎日五十錢宛返金させ、利殖が天引で、掛金の受入からも利息を生みますから、一千圓の元金で十六ヶ月餘には一萬圓となる勘定で實際上から見ても成績は悪くありません。

それで今少しく具體的に云ひますと、元金一千圓なれば之れを三十口、即ち九百圓を貸出し、残り百圓を豫備として姑めます。そして此の一口の利益から申しますと、一口三十圓の金を貸した時、其内月一割の利子二ヶ月分六圓を天引して、手取金廿四圓を渡し、そして其返済には毎日五十錢宛六十日間掛けさせます、から返る時は三十圓となつて返つて來ます、故に此の天引の六圓が貸出しと同時に矢張月一割に廻り、此の利子が六十日間で一圓廿錢となり、三十圓の元金が毎日五十錢宛返金されるから、夫れも立直ぐ一割に廻せますから、此の利子が金三圓十一錢となり合計十圓卅一錢の利益となり、元金を合せて四十圓卅一錢となるのであります、夫れ故第一

回は元金合計千三百〇三圓十錢に過ぎませんが第二回からは漸次増加して左の計算となります。

第二回	一千七百十五圓
第三回	二千二百八十二圓
第四回	三千〇七十六圓
第五回	四千〇七圓
第六回	五千四百九十八圓
第七回	七千三百六十一圓
第八回	九千八百三十六圓

十、貸金の有望な土地

次に貸金で最も面白いと思ふのは朝鮮、北海道、樺太、臺灣等の殖民地がよろしい、今假に北海道の一例を申しますと北海道邊は金融機關が不備でありますから、貸金が非常に歓迎されます。資金一千圓も持つて出稼ぎに行つても數萬圓の資産家となれる、何せかと申しますに、北海道邊の貸金法は開墾地五町歩を一括して擔保に入れば大抵二百圓位の借用を申込む之れに對して一圓に月三錢以上の金利で融通をしてやり、期限が來て返却せぬ場合は、擔保を取り上げる、一圓に月三錢と云へば一ヶ年三十六錢即ち年三割六分の利子であります、今假りに六分と餘得收入を生活費に振り向け年三割の利

廻りで資金一千圓を運用して見ますと

初年目末には一千三百圓

五年目末には三千七百十二圓九十三錢余

十年目末には一萬三千七百八十五圓余

十五年目末には五萬一千百八十五錢余

となります、尙茲に注意すべきことは、土地に對して貸す場合は地上の物件まで同時に含めて置く、決して貸地となつてゐるのに貸してはならぬことであります。又家作の場合は火災保險を必ず附けさせることなどを忘れてはなりません。こうして内職的に確實にしても甚だ有利であります。

第六編 土地建物

一、土地放資の研究

吾々が財産を作る場合に最も注意して置くことは此の急がば廻れと云ふ諺であると考へられます。此の意味にて一代に財産を作り、最後の勝利者となること云ふには何れから云へば、素人には有價證券より不動産放資の方が遙かに安全確實であります。現に各地を通じて土地で損をしたと云ふ人よりも土地で儲けたと云ふ人がザラあります。處で大正八年度東京時事新報社の調査によりますと全國五十萬圓以上の資産家を見ますと、其總數が三千四百名其中最も多く

資産家の集中せる處は、東京、大阪、兵庫、京都と云ふ順序で今三府に於ける五十萬圓以上の富豪の數を列擧して見ますと

東 京	約 七 百 人
大 阪	約 五 百 人
京 都	約 一 百 人

と云ふ見合で、而してこれ等の人々が成功した徑路方法を分拆して見ますと十中八九迄は土地を所有し、又は轉賣したによつて一代の産を起したものが三割を占めて居るそうであります。然らば利殖の詭向なる土地及建物に付て放資的價値を研究する必要が起ります。今全國各地に於ける其筋の調査に係る土地價格の推移状態を見る

に

二、田地賣買價格表

區別	大正二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
北海道	五九	四九	四九	五二	六一	一〇五
北部本州	一八二	一六三	一五〇	一六五	二二三	三〇五
關東	二二四	二二一	二〇四	二一九	二六三	三五九
西部本州	四一八	三六二	三一七	三四二	四一七	五六二
中部本州	三三〇	三〇八	二九七	三一八	三六六	五〇一
四國	三五四	三二九	三〇三	三二八	三九二	四九六
九州	一二五	一三二	一一四	一一四	一二七	一八六

沖繩	三〇七	一三二	一一四	一一四	一二七	一八六
平均	三〇七	二八〇	二五七	二七二	三二八	四四一

三、畑地賣買價格表

區別	大正二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
北海道	二九	二〇	二二	二五	三二	五六
北部本州	九五	七九	七八	八五	二五	一六七
關東	一五二	一二二	一三一	二五二	一七七	二四六
中部本州	二〇七	一八九	一八八	二〇三	二五八	三二四
西部本州	一九二	一七〇	一四八	一六二	一九九	二七四
四國	一九二	一六五	一六四	一八八	二二一	二七七

九	州	一三七	一四七	一二一	一二二	一六二	二〇二
神	繩	一一〇	一三二	一三六	一一五	一三五	一九四
平	均	一六五	一四五	一三八	一五一	一八九	二五一

四、土地賣買に就ての心得

土地を買ふからと云つて無暗に買ひ取ると甚い目に逢ふことも澤山ありますが殊に「千三ツ屋」と稱する土地仲介業者大都會などには澤山居て互に連絡を取つて居るから、一度此の者に土地を買入れることを聞かれると、彼方からも此方からも色々の土地を持ち込んで來ます。夫れが又必ず因縁付きのものばかりで、過つて買取りで

もすると、第一番に此等の者に規定外の口錢を強請せられます、面倒だと云つて若干の涙金で濟すと今度は買つた土地が更地と思つて買つたのに貸地になつて住宅があつたり袋地になつて居つたりして色々厄介な事が生じて來ます。夫れでも未だ土地が正眞に賣主のものなればまたしも中には全然他人のものを恰も自分の所有の如く假装して賣込んで登記まですると、計らんや實際の所有者から想ひもよらぬ時に異議を申込まれることもあります。

斯う云ふ次第であるから十二分の調査を要します、又買場所としては市區改正の方面も調査し土地收用令にでも引掛らぬ様な土地を選ぶべきです。

五、借地法と宅地

借地法が大正十年五月十五日以後實施されてより動産は貸しても不動産は貸すなど云ふことを一種の定義の様に考へても可いやうな状態となつたのですが、此の場合同じ不動産中でも家屋を貸すといふことは多少意味を軽く考へねばならぬのであります。何故と云ふに、所有宅地を貸すとすれば、一旦貸した以上は借手に取られて了つたと同様な結論になるからで、宅地上の家屋が木造であれば、法定の期限は石造其他に比し短いけれども、夫れでも二十年間はあります。イザ期限と云ふ時に地主から土地返却を迫つても借手が夫れに應じて呉れれば可いですが、中々そつたやすく應じない事も想像

されます。此の場合強いて地主が返還を求めれば借手は法の規程に従つて其建物を時價で買へと迫るは勿論であります。その時價に對しても地主と借手と意見が一致しないのは勿論で、結局鑑定人を求める事となりましやうが、いづれにしても時價なるものは地上權まで含有されて居るから安く鑑定することが出來ないので、十年前であれば普通家屋は坪五十圓、長屋建は三十五圓位で出來たものであります。現在の相場はどうかと云へば東京などの市内及郊外の家屋の賣相場で先づ坪百五十圓から三百圓と云ふ非常な高價になつて來て居ります。斯うした古家を然も地上權まで附いたものを時價で引取れないことは、勿論であります。

斯くして一旦土地を借りて、その上に家屋を建て、しまへさへすれば最も借地期限の短かい木造でさへ猶ほ二十年間は其借用權が動かない、假令期限が來ても其繼續は殆んど確實であります、つまりこうなると買ったも同然の有様です。そこで不動産は貸すなど云ふたやうな定義となる次第であります。併しこれは大阪、東京、京都と云ふ様な人口の増加が急激で、宅地に不足する地方に限られて居りるのは勿論であります。

六、有利な土地の買入法

斯う云ふと到底宅地は買ふべきものでないと速断してはいけません、土地の選擇や其利用方法さへ誤まらなければ、宅地に放資する

ほど堅實味も多く、面白味もあるものはありません。

然らば宅地を買ふ場合、又は宅地として土地を買入るには、第一注意すべきは、地上に建築物の無い更地を求むべきです、それは、自宅を建てようと、家屋を造らうと自由で利用法が自由だけに、一番利廻りが多く使途に役立てることが出来るからです。

次には土地と土地の物件とが相互に均衡を得て居るものであります。したら、地上物件と合せて買ふのがよろしい之れは所在地が商等地なれば商店向に出來て居ると云ふ様なことであります。しかるに之れを閑視して商業地域に隱宅向の住宅などを建て、あるものを、土地建物を合せて求めたとすれば、その地上の物件から生ずる利益が

少額であつて銀行預金の利息程しか出来ないことが多いのであります。

七、如何なる貸家が利殖としてよきか

貸家の功率を最も多く擧げようとするには大きな古家を改造して貸間家とするが一番です。その次は商店向貸家を造ることである、住宅専門のものは何うしても利益が少い様であります。殊に貸家として建築したものでないと疊一疊に就て五圓の借家賃を取つても猶ほ利益が無いと云つたやうな場合さへあります、貸間家屋や商店向のものは上手にやれば年三割五分見當の利廻りになります。

併し貸家として最も數の多い又需要の最多いのは矢張住宅向のも

のであります、斯程の貸家は貸すつもりで建てたものであれば、家主の負擔に歸すべき諸税及修繕料などを除きまゝと、純益一割強位が普通のものであつて、それ以上の利益を収める家主は暴利を貪つてゐるものと見て差支へ無い位です。此の一割強といふ利益割合は借地をしてゐる場合を假定しての計算であります、若し貸家を建てん爲めに態々宅地を買つたものであれば、此の利益は六掛位に減少するのが常であります。

それから家屋を擔保として放資する場合は、時價の五掛乃至六掛まで融通してよいと思ひます。勿論火災保險を附けて置かせる事を忘れてはなりません。

を以て其時價を見積るにあつても、家屋自體のみで無く地上權をも見積つて加算すべきであるが、之れは時價の三分の一位に見積れば先づ大丈夫と考へられます。

第七編 經濟記事のよみ方及 投資の參考資料

一、經濟界變轉の見方

證券騰貴の前兆

- 一、證券價格の下落及一般商取引は沈滞す。
- 二、信用状態健全にして金利安し。

- 三、鐵道及工業收入少なく配當減少、會社整理續出す。
 - 四、投資報酬率の多大。
 - 五、投機熱皆無にして證券取引の減少。
 - 六、手形交換高の比較的減少。
 - 七、一般仕事が弱氣となり、既に悪材料も相場に下落を演ずるに足りなくなつた時。
- 同 下落の前兆
- 一、商取引の繁盛に伴ふ證券價格の騰貴。
 - 二、信用擴張状態同時にコール及貸出日歩の昂騰。
 - 三、鐵道及工業の純益増加、配當の激増。

四、投資報酬率の低下。

五、民衆の熱狂的に伴ふ證券取引の激増。

六、記録破りの手形交換高。

七、株式相場大激動、黒人の操りによる最後の賣投げ。

恐慌の前兆

一、物價騰貴就中、殊商品、土地は最後。

二、舊企業の増資及企業の増加、總て生産方法の増加が設備を爲して流通資本を固定せしむ。

三、金利の漸騰及資金の需要増加。

四、投機思惑の横溢。

五、割引貸出の増加、労働供給の不足生ず。

二、銀行善悪鑑別法

利殖家を取つては一日も忽に附すことの出来ないのは銀行であります。此の判断の正鵠を誤ると飛んだ悲劇を招くことゝなります。然らば其信用不信用を判断するには何を標準とすべきかと云ひますと、之れを分つて常識判断法と功課状判断法とに分れて功課状判断に更に輪廓判断と實質判断とになります。

常識判断法

此の法では第一重役の十分信頼し得べき人物なるや否やを調査し、

若しも銀行の重役にして政治色を帯びて居るとか政黨政派に關係を有して居るやうであれば寧ろ近付かぬ方がよい、銀行重役の最大資格は個人資産の多寡と其關係せる事業の如何によつて定められる場合が多い。財産も相當あり其他方の一般的事業に偏頗なく關係せる人々とか乃至個人資産は少いにしても濫澤男の如く其社會から信用を博して居る人の經營する銀行なれば先づ安心してよいと思ひます。何故なれば事業が人によることは千古不磨の原則であるからです。

更に一步銀行に足を入れて其行内の執務振りと客の應接振りを窺へば其處にも亦直ちに銀行の善惡を區別することが出來ます。銀行業者は金融業と同時に一種の借用者であると云ふ位置の業務を徹底

に了解して居る銀行は應接も親切に、行員の執務も敏捷であるが之れに反する銀行は兎角顧客に對する態度に偏頗不公平があります。彼の市中到る所の銀行で預金引出しに行きたる場合などに拂出しに多大の時間を空費させる如きは最も危険であります。家屋が其銀行の歴史と資本とに一致して身分相應であるか、若し相應して居れば申分ないが、身分不相應にして豪然と官僚式を發揮して居る銀行は一寸考へ物です。

輪廓的判斷

之れは主として資本金の大小積立金の多少、創業の新古等決算報告の外面に表はれたる方面から判斷する方法であります。

決算報告に表になる数字の上から、銀行の良否を見る第一要件は資産の分解であります。資産の分解は新聞雜誌上に表はれて居る決算報告と共に、銀行に備付けてある功課状に基いて財産目録を一通り検討して銀行經營の首腦なる貸借關係を檢查することです。而して貸出し方面では商業手形の多寡如何、無擔保貸出の多少を見る。商業手形の割引が餘り多かつたり無擔保貸附けが多い銀行は其擔保貸附に重きを置いて居る銀行よりも資金状態が不安とせねばならぬ。又有價證券放資の場合にしても株券、公債、地方債等に依り銀行經營者の遺方を伺ふことが出来ます。何れかと云へば普通銀行が不動擔保の貸附乃至其取得放資をする如きは策の得たものでなく、却つ

て危険の發生する機會の多い銀行です、だから普通銀行としては、不動産以外の有價證券等を擔保とした貸附金多く、遊金放資の如きも支拂保證手形等の割引を多くなせる銀行は安んじて預金の出来る銀行であります。

資産と準備金

次に預金者の一考すべきことは銀行の所有たる動産、不動産の評価が時價以上になれるかと云ふことであります。評價が時價以下に切り下げである銀行は夫れ尠資産が隠されてある丈に安全です。固定資産と流動資産と比較して流動資金の多き銀行は絶へず顧客の

便宜本位であるから安心の出来る方です。此の外準備金であります
が、預金高に比較して貸出が超過して居るとか固定貸附金の多いの
は譽めた銀行でありません、之れに反し貸出金は常に預金の七掛位
の範圍を上下し、積立金も相當に有し、創立年限も相當古い銀行で
あれば勿論安心してよい銀行であります。

三、株式會社の報告書の鑑別法

概して言へば決算報告書に表れて來る損益計算の利益が多く配當
が澤山に表はれて來れば利廻りの關係からして株價にプレミアムが
附いて高くなるのが普通原則です、處が會社の發表した決算報告

は相當の利益もある様になつて居るし、配當も善いのに反對に不良
に陥るものが澤山なるして見れば株價は必ずしも表面上の決算報告
や配當ばかりで定るものでないと云ふことが解ります。株價は常に
事實の出現に先き走るものであるから、會社當局者が如何に決算報
告書で世間を瞞着しやうとしても其實質内容が不良なれば自然報告
面の何れかに隙裂が生して居る。夫れ故大體は決算報告に依つて定
まると云ふのですが、實際は決算報告書に表れたる損益計算によつ
て生ずる根本原因の如何であります。

決算報告は貸借對照表、財産目錄、損益計算表及び利益金處分案
又は損失金承認案の四種であります、此の四種の報告を見れば要

するに會社の現状が判る。しかしながら決算報告が正當か不正であるかを取調べねばならぬことになる。

處が世間一般の會社は經營者の主義として社内の状態を成るべく曖昧にして社外に餘り内容を知らしめない、方針をとる、なせかと申せば、斯うすると經營者に都合がよい、然らば如何なる點が都合よいかと云ふに、會社が澤山儲けた時とか利益が少くなかつた時に會社の内容を世間に知らさなければ儲かつた時には余分の利益を會社の各方面へ隠して後日不況準備に供することが出来るし、會社の利益が少くなかつた時には在庫品とか所有不動産の價格を高かめて利益を提出することが出来るからです。而して何れかと云へば一般

經營者は成績が不良であれば不良である丈に、表面を糊塗して株主から非難を免がれんとし、夫れが原因となつて往々有りもしない利益を有る様に計上して剰配當をするのが常套手段であります。

報告書の見方

斯う云ふ次第であるから、貸借對照表のみに依つて其報告書の正邪を判断することは極めて困難ですが、然かし示された數字を辿つて數字の變化其物を見、經營状態が如何に推移しつゝあるか、亦利益が如何様にして計上されて居るかと云ふことを觀取すればをぼろげながらも報告書の正邪を察することが出来ます。夫れに此の邊のことは損失金と利益金の比を見ても暗黙の裡に會社經營者の心理を

まむことが出来る。故に純益があれば利益の生ずることは當然であります。假想の利益には前期と今期で不動産の評価在庫品の評価所有株券等の評価が違つて来るから勢ひ反證が擧げられます。

勘定科目の見方

更に貸借対照表を見て注意すべきは、勘定科目であります。就中、假出金、支拂手形、受取手形の多寡如何である、例へ會社が利益ありと稱した處で、假出金や受取手形や貸金が多かつたのでは餘程此等の内容に就て調査しなければなりません。何となれば普通會社の貸借対照表に掲示されて居る受取手形、假出金等は不確實な貸金が多いのであります。同時に亦支拂手形の多くは他から借入金か

多いのである、だから支拂手形が多いと同時に受取手形や、假出金の多い會社となつたら殆んど見込のない會社と斷言しても決して失望でないのです。夫れに亦拂込資本の半分以上の缺損をした様な會社は如何にバランスを合はしても、後の未拂込資本の利益を以て過去の損失を埋めんとしても不可能であります。單に損失金の補填が不可能計りでなく、第一配當金が到底減配かを免がれることが出来ません。貸借対照表を見るには差し當り此の通の智識があれば會社の正邪を鑑別して誤りなきに近かいと思ひます。

四、株式投資の心得

米國ウォール街の名物男として知られたる成功株屋のスタリブラ

一、ブラウン氏の方法を摘記します。

氏の株式放資の要目を掲げますと、

- 一、株券を買ふには儲けた金でやれ。
- 二、副業的にやり決して本業にするな。
- 三、資金の半分は如何なる場合でも公債に投じて置け。
- 四、投資は常に組織的になせ。
- 五、投資の資金は其の豫備智識に正比例して増減するがよい。
- 六、株式放資は常に人格的になせ。
- 七、株式放資に賭博的投機は禁物。

第八編 小資本で有利な商賣

一、パン屋

パン屋の店構

食物中パンの小賣は資本が少なくて割合利益のある商賣で近頃は小さな町や新開地などにもパン屋が續々殖へて來ます。先づ小店で間口二間奥行一間半としても奥行を少しにした方が賣行がよろしいなせなれば前にある品は客目につきやすいし奥深く並べては不得策であります。

先づ開始に當りまして、必要なものはパンの箱で、之れを五ツツ

、三側に並べるとして二ヶ一圓以上二圓のものを十五個用意します。他にビスケット類煎餅類を入れる蓋付十斤入瓶五個と餡類入三斤入瓶五ツ位(一個二圓内外)を要します。

販賣品目はパンの外に蒸羊羹饅頭などの生菓子も置いても相當賣れます。パンなれば餡パン、甘食クリームパン、ジャムパン、食パンなどです。

仕入は店を開くと罎屋の賣子が注文取に來ますからいろいろ當つて見て品物と値段を勉強するものから仕入れます。餡パン食パン、ビスケット類は卸が別で生物は大抵毎日來ます、品物は大抵現金拂ですが馴染になるとだん／＼貸して呉れる様になります。

生物は前日の残りを賣ると不評判になるから内輪に見積つて仕入ます、尤も食パンなどは残つたものは罎屋で取換て呉れます。之れは乾してパン粉にするさうです。

一年中で三四月が忙しい時で入梅は瓶の蓋や箱の蓋を密閉することに注意し、近頃は一般衛生思想が特に發達しましたから店先を清潔にして置かねばなりません。ついで袋は自店の判を作つて置いて袋へ自ら押します。

二、煙草小賣店

此の商賣は資金の運用が圓滑に行くのと仕入に出掛ける手数が

ないので勢力が少なく従つて店番の片手間に裁縫などの出来る點から婦人などに最も適します。

開始法

先づ希望者は煙草專賣支局へ申請書を差出しますと、專賣長官から指定書の交付があつて初めて開店の運びとなるのです。

資本金を今三百圓で見積りますと

看板一組で五圓、

陳列戸棚が一個三十圓(新物)中古で廿圓位、

造作費がざつと五十圓、

其他は店の備付が七圓、而して殘額を豫備金とします。」

煙草仕入額は其土地によつて經濟状態により、市(一等) 町(二等) 村(三等)の三階級に等地別されてありまして、品の備置の最少限度數量が指定されることになつてゐます。

賣上は一ヶ年平均六大都市が四千圓、市制施行地が二千圓、町村制施地が千圓位、村落が五百圓であります。

利益は内地製品なら總て一割一步金口類が一割四歩、内地葉巻や外國煙草で一割四分乃至一割九歩位であります。」

三、雜 誌 商

この商賣は莫大な利こそありませんが、どんな素人が始めても失

敗ありません。近來の人々の知識慾は無限にのびて行きます、それを手近に満すには書籍雜誌店より他にありません。之れを他の商賣に比較しますと一、他の商品の如く實價の制定に苦まず定價通りに賣れること、第二、ロイズものが出來ぬこと、第三、時代と共に益々隆盛の見込あること、第四、顧客が知識階級丈に駆引などを要さぬこと、第五、小資本で出來ること等であります。そこで茲に一つの缺點の薄利と云ふことは、少しく勤勞と資本として數でこなす方針をとれば始めからでも可なり成績を上げることが容易であります。本業を副業としては家庭の内職などよりも遙に収益が多いのであります。

開始法

さて第一の問題は土地の選定ですが賣上の點から行けば勿論繁榮な人通り多い場所が理想的ですが、そうした場所は既に他人に占領されて居りますし萬一、讓店があるとしても権利が非常に高いから素人としては寧ろ新開地が場末のあまり同業者の多くない方面が得策であると思ひますが相手が知識階級であるから、同じ新開地でも學校近くなどは有望であります。

場所が得られましたら雜誌販賣組合に加入して正會員になりこの組合は其地方地方の同業者によつて組織されて居るもので、これに加入せないと開業が出來ません。加入金は東京で二百圓地方で十五

圓か廿圓です。書籍の方も同様別に全國書籍組合がありますが、之れは雑誌丈なれば勿論要しません、而して加入金は廢業の時は返却を受けることが出来ます。

組合加入が済みましたら、品物の仕入にかゝるのですが、商品は都會なれば問屋の手を経て仕入ります。東京では東海道、北隆館、大阪では參文社、京都では大盛社、名古屋ではマガジン等は有名です。それで何れでも便宜な中次店に付き品物の配達を交渉し、各種の雑誌を之れは何圓、これは幾圓と注文すれば毎日發行と同時に其店から届けて呉れます。

雑誌は總て委託販賣ですから保證金が若干入りります而して仕入れた

雑誌代は毎月末に賣上げた數だけを支拂ふことになつて居ます、残つた部數は返すのであります、又品切の場合は中次所で餘分に持つて居りますからスグ取寄せることが出来ます。先づ一般よく捌けるものは婦人物や、小供物或は娛樂物、文藝物などであり、然し其土地土地によつて多小異なりますが、之れは二三ヶ月も経ちますと呼吸がよく分ります。

其他賣行がよゝて利益の多い繪葉書とか地圖、などもついでに並べ店を賑しくしますと一層有利であります。今之等を見積つた最小限店の設備費はどれ丈で出来るかと申しますと

雑誌臺

一個

三十圓

飾窓及戸棚	各一ヶ宛	五十圓
エハガキ掛	二ヶ	四圓
家根看板其他	二十圓	
合計	百〇四圓	

四、書籍通信販賣

通信販賣とは言ふまでもなく顧客から郵便で注文して来たものに對して、その望みに應じて注成品を送り届ける販賣法で、現に三越や白木屋が益んにやつて居る割のよい商賣であります。其特點を上げますと、

- 一、店舗を要さぬ事
- 二、場所も關はぬ事
- 三、店員を不要ぬ事
- 四、顧客に接せず
- 五、商品も並べず
- 六、代金の回収確實なこと
- 七、小資本で出来ること

此の如き特色が通信販賣に含有されてゐますから副業として甚だ有望です。

通信販賣の方法

通信販賣を開業するに先立ち、先づ充分に準備して置く必要は

一、先づ第一注文者を吸収する爲めに廣告をせねばなりません。費用が多くかゝると思へば封筒式勧誘状にしてもよい印刷物を入れるのであるから開封にする。印刷物は騰寫版でも間に合ふが活版印刷程鮮明に行きませんし又魅力がないから感服が出来ません。

二、廣告文は自分で造つた方がよいが全然其方面に知識のない人なれば廣告に關する参考書を見れば立派な廣告文が出来ます。

三、勧誘状を出すに付て第一に必要なのは人名であります。さて此人名を知ると云ふ事は中々容易ではありませんからそれで通信販賣業者、又は各種講義録發行所から申込者の古ハカキを買受ける方法

を採つてもよいですが、こんな面倒なことをしない方法は圖書館へ行つて各省の名簿紳士録を調べるか或は興信所發行の信用録を貸して貰へばよろしい。

四、營業所を定めねばなりません。これは自宅又は自分の書齋の一隅を之に充てる。而して入口に「〇〇書院」と書いた小さな札を掛けて置けば立派な營業所が出来上ります。

五、振替貯金に加入して送金の便に供する必要があります。振替加入金は十圓ですが之れに就ては郵便局で詳しく教へて呉れます。

右の準備が出来上りますと愈々開業と云ふ順序になるのですが、新刊書籍の通信販賣を初めるには先づ地方へ勧誘状を出して注文を

待つ、而して注文が来れば直ちに書籍問屋へ注文して、それを直ちに注文者へ送付します。

通信販賣の利益

通信販賣の利益はどの位あるかと申しますと、新刊書籍の相場は大抵普通定價の七掛であります。處が本が發行されてから三ヶ月を経過すれば大抵三圓の本が一圓内外で仕入る事が出来ますから手垢の付かぬ古本で新しいのを手に入れて注文者に送れば其利益は大したものであります。(本屋の秘密を知らないでしやうが、どんな本でも發行後三ヶ月立てば總て古本と看做され定價の四分の一位で卸す習慣になつてゐます) 諸君は此點を目かけるべきです、即ち發行

後三ヶ月後古本を安く仕入れ之を販賣する時には定價より幾分安くして賣るやうにすると幾らでも買手が付きます。

同じ書籍中でも最も薄利なものは法律數學書であつて、教科書は割合に利益のある方であり、外國書となるとその利益は驚く程莫大な利益があります。

資本金

通信販賣は大抵前金で注文をとり、注文主へ出す郵税封筒代、印刷紙代位のもので其外には一厘も要しません。何故なれば注文者から送金して来たなれば其金を以て問屋へ行き注文の書籍を仕入れて送ればよいからです。普通勸誘状一千枚に對し、二百人の應

募者があつたと假定し一人に四圓のものを賣つて一人に對し八十錢宛の利益を得たとすれば二百人なれば百六十圓の利益を見ることゝなります。一ヶ月に之丈の利益あれば副業としても本業としても立派なものです。毎月此の調子で行きますと十ヶ月には千六百圓云ふ莫大な利益を得る事が出来ます。而して一千六百圓に費した十ヶ月分の費用は何れ程かと申しますと

一、郵 税(二錢)二百人分 四十圓

二、封筒代 一圓

三、紙及印刷代 五圓

合計金四十六圓也

五、桐樹栽培法

五年間若しくは十年間にまどまつた大金を得る副業としては桐樹栽培があります。

桐を植へますには、大底の土地なら栽培法さへ良かつたら差支ないが壤土が一番良いとして一反内外の土地に百本乃至二百本の桐樹を植へ付けるのです。が植付時期は秋植がよろしい植へ方は先各株間を各二間位とし深さ一尺以上徑二尺以上に穴を掘り其中にまへに用意した肥料を入れ土と混じ其上に土をかけ足にて少しく踏み付け桐苗をそつと置き周圍の土を寄せて苗の根本を高くして置きます。

肥料

は一株に付堆肥一斗餘、粕大豆粕の等分に混じたものを五合から一升過燐酸一二合草木灰少量アンモニア少量等を配合して元肥とするのです。其後は追肥として同肥料でも時を嫌はず適宜にやれば良いのです。

管 理

は中々六ヶ敷いから一二年は怠つてはなりません、先春發芽前に地上五寸から一尺位の處から上は切り捨てるのです、それから下より多くの新芽が出ますから南方で一番上部の一芽を残し他は皆掻き取るのでありますから、此一芽の外は掻き取り、同時に青虫が若芽を食害しますから驅除せねばなりません、其他時々人糞尿やアンモ

ニアなどの液肥をやれば一層成育が良い、かく肥培管理がよいと一年の内に優に一丈五六尺以上二丈にも伸長するものです。

二年以後は桐樹の根元より二尺以上はなれた處に穴を掘り適宜に肥料をやるのであるが農家などでは風呂水や流し溜の水を時々まいてやれば猶よい、商家では庭や臺所などを掃いた程々のものを桐の元にやればよいのです。

こうして一二年の内に充分育てるのが桐栽培の眼目でありまして其後は根が四方に伸長して養分を吸収するから大した肥料もやらなくても差支がありません。而して十年も経てば丈長さ約二丈に達し一本十五六圓位で買手がイタラでもありません、故に一年に一圓五十錢

づゝ育つて行く勘定で少しく広い空地を利用したなら蓋莫大の利益となるや明であります。

六、副業として最も面白き養鶏

養鶏は男女老幼の別なく場所は平野でも都會でも海岸でも山間でも到る處で出来る云ふ結構な副業です。食用として其需要の廣いことは申す迄もなく東京丈でも卵が一日三十萬顆鶏が六千羽と云ふ數量でありましていくら、養鶏家が殖へても玉子や鶏の販路供給に窮する様なことは決してありません。

副業として適當なる種類にはプリスロワク種(北米原産)ラングシ

ヤン(フランス原産)ワイヤンドワト(北米原産)コーチン(支那原産)名古屋コーチン(地鶏)其他色々ありますが茲には主名古屋コーチンに就て申し上げます。

名古屋コーチンの來歴は約四十年前愛知縣下に始めて現れた地鶏で一ケ年の産卵が百五十ケ乃至二百ケ平均一ケの目方が十六七匁あります。而して雄の目方が八百匁乃至一貫目、雌の目方が六百匁から八百匁位迄あります。重關西地方に飼養が盛んで實用上効果甚だ多く頗る賞物されて居ります。

自然孵化法

孵化法には自然孵化法と、人工孵化法とあります、自然孵化法は

天然孵化法とも稱し、其天性に元づいて行はしむる處の普通一般の方法であります。先づ第一期の産卵を終れば、それより自己の體温によつて約三週間に孵化します。之れを俗に巢取と云ひます。それで此の方法は卵を選び、巢鶏に一任すればよいのです。孵化は鶏の年齢の大いに若きよりは、なるべく老鶏にさせないと不利益です。其時期は春期を以て最も適當とされて居ります。抱卵は鶏の大小や氣候の寒暖によつて多少相異ありますが、コーチンで十五個乃至十八個が適當であります。

巢舎は鶏小屋の一隅でも適當であるがよく乾燥した處で寒氣の當らぬ處を選びザルか又はカゴの如きものを置き其中に藁を布き、温

度巢箱の温度は攝氏三十九度程度で光線の明るいよりも少し暗い方がよい。

母抱卵中の管理

母鶏が巢に就けば毎日一回位暫らくの間巢を離れて餌を求め、又は水を啜り、砂を浴びて巢に歸ります。斯くして空腹を肥し精力を貯め、害虫を防ぐのであります。而して其管理のこととは

- 一、毎日食餌を與ふること(穀物、パン屑、青菜、清水)
- 二、運動をせしむること
- 三、巢を清潔にすること
- 四、砂箱を備け其中には砂と灰と細少の土を適當に混し置くこと

雛の育成法

孵化後三四時間後ほど経過しますと、熟く煮た卵の蛋黃を碎き略同量のパン屑乃至小麦粉を混じて一日一回與へます。それより次第に體勢も備はつて來ましら、暖き氣候の快晴な日に母鶏と共に屋外に放ち、衛生上の効果を助けます。而して七十日後にもなつたら動物質餌料と青菜を適當に與へます。

雛の飼料製法

孵化後當時の餌は、粟黍粉や米の類に魚類の肉を刻み込みて適當の水を加へて煮熟し、その煮汁へ穀類を混入し半熟して、後火を引き暫く蒸しバラ／＼となつて冷却したら與へます。又細少に刻んだ

青菜を別の餌料器に入れて與へます。

一般飼養法

五羽、飼養としての雄雌配合は雄一羽に對し雌四羽が適當であります、飼料の與へ加減は、朝夕二回で宜しい、而して朝はなるべく早い方がよく、朝食は、穀、糖類、餡粕、大豆粉、芋等で中食は粟黍、穀類、蕎麥、小麦、大麥などいづれでも宜い。

寢舎は大低古小屋か納屋の片隅を割き充て、なるべく乾燥した日當りよき處が適當です。別に作るにせよ底を約四尺許り前方へ延し家根は茅葺きで側は壁又は板壁にし床には砂と礫との混合して布き天井に空氣抜きを作り其處には金網を張ればよい。經費は三圓位で

立派に素人細工で出来ます。

一般に農家などの飼養法は頗る無造作なもので飼料は廢棄物に均しい雜穀に米糠と青菜を加へて日に二三回與へ別段際立つた煩勞を感せず無意識的に飼養して居る様です。然しながら一ケ年間の産卵と鶏糞肥料とは農家の副業としては決して小なるものでありません

收支計算

金三百二十八圓 一ケ年収入金額

内譯

金二百八十八圓

此れは百羽の雌鶏一日の産卵平均四分と見て一日四十ヶ一個二錢

として八十錢

金四十圓 鶏糞百俵代

金二百圓

内譯 百十八圓 一羽には一日五厘一ケ年餌料代

金二十圓 其他雜費

差引百二十八圓の利益

第九編 内職

一、和洋仕立物

婦人の内職と申せば先づ第一に聯想されるもので、今日社會一般

から確實に認められて居るものは和洋仕立物であります、資本と言つたら針と糸さへあれば結構で収入が確實で相當な信頼さへ得れば注文は手の廻らぬ程参ります。そして特に稽古の必要なく一通御裁縫が出来て器用なれば十分です。

方 法

「和洋仕立物」の看板を出し居ながら注文を迎へられます、注文は個人と呉服屋のものとあります、呉服屋の方は坐しては注文がありませんから、こちらから足を運びます。萬人裁縫の心得なき方はお師匠さんに付くか専門の裁縫女學校へ通へばよい。

收 入

家庭のお仕事の餘暇でします普通の腕は一ヶ月十數圓位上達の方で二三十圓位専門で優に五十圓内外の収入が確實であります。仕立値段は各所によつて一定して居りませんが京都市内の標準は夏羽織無地縞物類一圓十錢以上一圓五十五錢位紋付類一圓六十錢以上一圓八十錢位、夏物男物單衣一圓三十錢以上二圓十錢位、同コート三圓五十錢以上四圓迄、冬物男女羽織及紋付類一圓三十錢以上二圓八十錢位、縞物類一圓三十錢以上一圓八十錢迄、冬物男長着一圓七十錢以上二圓三十錢迄、紋付類一圓七十錢以上二圓七十錢位、冬物女長着一圓八十錢以上二圓七十錢位、同模様物三圓七十錢以上五圓二十錢位、冬物コート二圓八十錢以上三圓八十錢位、女合帯一圓二十錢

以上五圓迄、男帯七十錢以上二圓位迄、袴類男女共單袴一圓六十錢位裕袴二圓五十錢位

二、メリヤス裁縫

大阪は何んど云つてもメリヤス内職が随一で本副業としましても需要が甚だ多く、天満福島方面は盛んに取扱はれて居ります。仕事の種類はシャツとズボンが主でありまして、工場から出来上つたものを問屋からそれへ下請した裁縫店へ集配することになつて居ます。次に其仕事の大概を申せば
メリヤスシャツ及ズボンの穴かゝり、

この仕事は上等のシャツやズボンの釦穴がぼぐれない様に手先で一々かゝるのと機械でかゝるのと二通りあります。穴かゝり機械は一臺四百圓位で一臺備付けても充分成算は立ちます。而して五六日も稽古すれば十分一人前になります。手先の方で一日七十錢位、ミシンかゝりで三圓位の手間は容易にとれます。

これは釦穴に合せて釦を付ける仕事で、之れは真正の素人仕事で技倆も何も要りません、只熟練すると否とで仕上りの数が違ふ迄です。一日五六十錢の収入があります。

其他、地縫とか、スツピン付け、シャツの衿廻り、ゴム切、靴下

の足かゝりなどと色々あります手間賃は大抵五十錢以上一圓三四十錢迄です。」

三、刷子類の内職

ブラシにも色々ありますが大體は齒ブラシと木ブラシの二つに分れて居ます。大阪は内外地共に本場となつて居ますから仕事に不足する様なことはありません。」

木刷子及齒刷子の毛植へ

木刷子にも色々ありますが素人の内職としては、此のデラシに毛を植へる仕事で、穴の中へそれ／＼定つた程宛の毛を植へ込んで毛

何本と云ふ勘定をする仕事ですから一寸面倒なものです。三ヶ月も稽古すれば一人前の仕事が出来収入は刷子の品質や毛の数の多少により色々ですが一圓二三十錢の収入です資本は鉄一個あれば宜しい
ブラシの栓詰め

毛植へをした儘の穴を塞ぐため其穴に同様の骨材を差し込む仕事でありまして仕事は一度見たら誰にも出来ず、一人前になれば三圓位の工賃になりますが、詰める骨栓は自分持ちでありますから栓代を差引いて二圓五十錢位の収入となります。」

四、タツチングレース

最新流行のレースでありまして短期の練習で容易に上達せられ且

つ機械も至極簡單であるからレース類の副業として一等有望なものです、最新流行したばかりで、今日一般的になつて居らぬから現在需要は餘り多くありませんが將來は必ず全國津々浦々迄タワチングレースの袋物や洋傘や袖口などに用ひられる様になると確信されま

す。
之れは東京の麻布の家庭製作品奨励會で稽古しますと二三日の練習で立派に仕事が出来ます。

収入は一日一圓以上二圓位は確實です。然し、何と云つても腕次第で巧みなものは一日四圓位の収入は、敢て机上の空論ではありません。

五、西洋洗濯

近頃は西洋洗濯が盛んになつたから、普通洗濯には依頼者がないと思ひますが決してそうでない、學校附近、下宿屋の多い處に住まつてゐる場合の時には眞に結構であります。女の内職として中々馬鹿になりません。

道具は大低在り合せのもので間に合せ、夫れでもアイロン、巻板巻棒等は是非備へねばなりません湯のしでもする場合には大釜も入用ですが、之れは飯炊釜を利用すればよい。

道具が揃へば入口に洗濯湯のし等と書いた看板をかけて置いて客を待つか、一步進んで寄宿者下宿屋等へ注文取に行つてもよい。

収入は單物で一枚糊付して五錢から十錢迄絹物は十錢から十五錢迄です。夜分又は雨天の時はアイロン掛もし、天氣の良い時は専ら洗ふと云ふ様にすればよい。

金儲大解剖學了

大正十二年二月廿三日印刷
大正十二年三月二日發行

定價壹圓拾錢

複製
不許

著者 實 殖 一 新 部
發行兼印刷者 京都市下鴨宮崎町一二二
市 村 庸 雄
印刷所 京都市油小路通松原上
松崎印刷所

京都市上京區下鴨宮崎町一二二

發行所

丸 木 屋
博 運 社
(振替大阪五一七五二番)
(振替大阪六四二二六番)

貝田翁創見 毎月數回の中！禮狀來る

期米 株式
相場先秘法

四六判 全一冊
定價 三圓九十四錢
送料共

黄金の榮達は先見の養成にある本書は創見以來益々實績を擧げし秘訣で數十年の相場を整理解剖し高低に一定原理あるを示し發會以下各相場の賣買暗示より大勢以下必勝憲法に到迄法則説明により一見前途方針を明にし然も巧拙なく其極意方法之で十分と言ふ程詳しい何人も眞理の恐しい偉力を活用し必然大利を得よ

商工研究會編

素敵に
儲かる **製造販賣經營法**

定價送料共
九十八錢

▼これから益々有望なるは製造販賣である▼而かも何處で誰にも僅十圓程の資金から立派に出来る有利品や▼需要の最多い日用品の簡易な新製法百餘種と▼之を一々何う云ふ風に賣捌くかと云ふ極めて面白い金儲けの實際が本書の眞價で要は方法一つである明日からスグ役に立つ本書を活用して無盡藏の寶庫を開け。

一名 商店案内

きつこ
うれる

小賣店經營法

定價送料九十八錢
好評 四版

▼群集購買力の捉へ方大いに當る▼本書は實地苦心の活學で活用次第誰にも安全確實にメキ／＼賣れる實行を詳述し要目▲場所の見方▼安い仕入法▼千客萬來法▼購買心理と引力▼販賣待遇術▼賣出店頭術▼廣告の仕方▼家號と看板▼小資本開業成功實例▼以下數十項天下無類附録本副業に儲かる商買二十餘程各資本利益收出豫算品目手順等分細便益内外到處意外の成功を得よ

291
359

終

